

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|         |         |
|---------|---------|
| 大地自治会 ✓ | 所在する市町村 |
|         | 小坂町 ✓   |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                                            |
|--------------------------------------------|
| 熊との共生を意識した、荒れた里山等緩衝帯の復活や森林の一体整備による後世への伝承。✓ |
|--------------------------------------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| 1)小森の整備で熊の移動ルート・行動の抑制等変化に期待。✓                                     |
| 2)生活環境に緩衝帯を設ける等の整備で、子供達の通学路の安全確保と老若男女の屋外活動・散策等、地域活性化の一助とする活動の創出。✓ |

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期            | 実施内容                                                               | 実施場所                      | 参加者数 |      |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------|------|------|
|                 |                                                                    |                           | 会員   | 非会員  |
| 5月4日<br>～5月19日  | 除伐・伐採作業影響のスズメバチ対策✓<br>(スズメバチ誘引剤の設置) ※昨年度マーキング<br>※活動期間内巡回点検・補充等実施。 | ※以下<br>大地地区 ✓<br>(添付図面参照) | 9 ✓  | 3 ✓  |
| 6月2日            | 里山の除伐、伐採作業。✓<br>(地区のほぼ中央に位置する、里山での除伐、択伐作業。) 計画エリアの継続並びに部分的な拡大      |                           | 4 ✓  | 3 ✓  |
| 7月21日<br>～9月29日 | 昨年度エリア継続・住宅近辺・林道 刈払い作業 ✓                                           |                           | 24 ✓ | 8 ✓  |
| 参加人数合計(延べ)      |                                                                    |                           | 37 ✓ | 14 ✓ |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

- ◇ 整備された環境の下、初年度の状況や動向により課題や問題点を洗い出し、その後の改善策を検討した対処計画を立案して、維持継続の為の活動に展開する予定である。✓

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

- ・ 応募回数： 1回 ✓（応募回数には今回の応募分は含めない）
- ・ 採択回数： 1回 ✓（採択回数には今回の応募分は含めない）

6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

- ・ 他の団体等と連携した活動である。

（連携する団体名：

）

- ・ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など）

- ◇ 自治会役員が活動目的の理解と目標を定め、自治会の定例会(月例)にて令和5年度の「補助事業実績報告」に合わせ、令和6年度も継続実施する旨賛同が得られ活動展開する事とした。✓

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

- ◇ 熊による人身事故はまだ起きていないが、手付かずとなっている里山整備を行う事で、熊による偶発的な不安全要素を軽減させ、地域生活ならびに屋外活動の活性化につなげる。✓

9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                    | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの算出根拠を記入)                                                                       | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)    |                                                                                                                 |            |                     |
| 2   | 賃 金                |                                                                                                                 |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)       |                                                                                                                 |            |                     |
| 4   | 消 耗 品 代            | 刈払機チップソー カルガリー 230mm×36P<br>(@1,050×40枚=42,000円) 税込 46,200円<br>スズメバチ誘引器 フマキラー(ハチ激取れ)2個入<br>(@998×10=9,980円[税込]) | 56,180 ✓   | 56,180 ✓            |
| 5   | 燃 料 代              | 2サイクル混合燃料 BSGAS1000 (1ℓ/缶)<br>(6本入(箱)=15,000円×3箱=45,000円) 税込 49,500円                                            | 49,500 ✓   | 49,500 ✓            |
| 6   | 印刷製本代              | 事業計画・作業区画図・同意書・実績報告書<br>各々 (28部×10p×@8)×4=8,960円 税込 9,856円                                                      | 9,856 ✓    | 9,820 ✓             |
| 7   | 資 材 費              |                                                                                                                 |            |                     |
| 8   | 役 務 費              | 傷害保険料 (5月1日～11月1日まで)<br>(@7,940×10人) ✓                                                                          | 79,400 ✓   | 79,400 ✓            |
| 9   | 使用料及<br>び<br>賃 借 料 |                                                                                                                 |            |                     |
| 10  | 委 託 費              | 1.3ha 除伐、枝打ち、刈払い ✓                                                                                              | 418,000 ✓  | 418,000 ✓           |
| 11  | 講 習<br>受 講 料       |                                                                                                                 |            |                     |
| 12  | そ の 他              | 刈払い機 やまびこ SSR2201-2T (3台)<br>(@27,000×3(台)=81,000円) 税込 89,100円                                                  | 89,100 ✓   | 89,100 ✓            |
| 合 計 |                    |                                                                                                                 | 702,036 ✓  | 702,000 ✓           |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                        |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 大地自治会 ✓                                                                                                                |
| 所 在 地                  | 〒017-0205<br>住所 鹿角郡小坂町大地字上村 116 ✓<br><br>電話 090-3643-1496 FAX<br>Eメール ueda.seiichi@rainbow.plala.or.jp                 |
| 代 表 者 名                | 自治会長 上田 誠一 ✓                                                                                                           |
| 連 絡 先                  | 〒 ※同上<br>住所 ※同上 ✓<br><br>電話 ※同上 FAX<br>Eメール ※同上                                                                        |
| 連 絡 者 名                | ※代表者に同じ                                                                                                                |
| 設 立 年 月 日              | 昭和 30 年 04 月 01 日（小坂町／七滝村対等合併～）✓                                                                                       |
| 会 員 数                  | 68 名（※現時点）✓                                                                                                            |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>（若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること）                                                                                    |
| 設 立 目 的                | 大地自治会規約(会則)【写し添付】✓<br>第一章 総則 （目的）第一条（1）～（5）参照。                                                                         |
| 主 な 活 動 実 績            | 1) 川と町をきれいにする運動 / 地域沿道の除草・草刈り<br>2) 薬師神社の祭典<br>3) 農地管理(畔・水路の草刈り) ✓<br>4) ひまわり栽培[油脂搾取・販売]<br>林野の整備と木材販売 / 林道・作業道の整備と草刈り |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 226,800 円／年 [一戸当たり；@700 円／月×12 ヶ月] ✓<br>・主な財源 自治会費（27 戸）✓                                                     |
| 備 考                    |                                                                                                                        |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

(別添-1) 里山の除伐・伐採／茂み・河川敷刈払い作業予定図 (概要)

○ 除伐・伐採

○ 茂み(除伐・伐採含む)・河川敷刈払い



## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|          |         |
|----------|---------|
| 扇田小学校PTA | 所在する市町村 |
|          | 大館市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|               |
|---------------|
| 秋田杉製給食トレイ制作事業 |
|---------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                         |
|---------------------------------------------------------|
| 大館の名産である秋田杉に触れながら木に対する愛着と自然の恵みを感じとってもらい木育推進を図ることを目的とする。 |
|---------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                      | 実施場所     | 参加者数 |     |
|------------|---------------------------|----------|------|-----|
|            |                           |          | 会員   | 非会員 |
| 6月         | 木育講話（3・4年生）               | 扇田小学校    |      | 52  |
| 6～7月       | 秋田杉製給食トレイの制作（3・4年生の親子レク）  | 扇田小学校    | 52   | 52  |
| 7～9月       | 秋田杉製給食トレイのレーザー加工・塗装・仕上げ作業 | （株）大館工芸社 |      |     |
| 9月         | 秋田杉製給食トレイの完成・納品           | 扇田小学校    |      |     |
| 10月        | 秋田杉製給食トレイの利用開始            | 扇田小学校    |      | 52  |
| 参加人数合計（延べ） |                           |          | 52   | 156 |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

木に触れることにより木の温もりや木のよさ、郷土の名産を知ってもらい、木に関心を持ち郷土を愛する心を育んでほしい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

- ・ 応募回数： 2回 （応募回数には今回の応募分は含めない）
- ・ 採択回数： 2回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

☒ 他団体等と連携した活動である。

（連携する団体名： 扇田小学校 ）

- ・ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など）

活動の様子を学校通信（槻の木）や学級通信、PTA会報誌に掲載するほか、新聞社やテレビ局などのマスコミにも取り上げてくれるよう事前周知する。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

秋田杉で給食トレイを制作することにより、大館の名産を知ってもらうこと、ウッドチェンジの取組であること、SDGsの取組であることを学習する。

また、親子レクで制作することにより児童だけでなく保護者の方々にも木育への関心を高めてもらい、家庭でのウッドチェンジに繋がるきっかけにしたい。

9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |               | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの算出根拠を記入)                                                 | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報償費<br>(謝礼金等) | 外部講師謝礼金 @10,000×1名×2回=20,000円                                                             | 20,000     | 20,000              |
| 2   | 賃金            |                                                                                           |            |                     |
| 3   | 旅費<br>(交通費)   |                                                                                           |            |                     |
| 4   | 消耗品代          | 【別添1】(税込み)<br>木工用ボンド 50g @166×40個=6,640円<br>180g @332×2個=664円<br>ウエットティッシュ @186×8個=1,488円 | 8,792      | 8,792               |
| 5   | 燃料代           |                                                                                           |            |                     |
| 6   | 印刷製本代         |                                                                                           |            |                     |
| 7   | 資材費           | 【別添2】<br>秋田杉製給食トレイ制作キット<br>@4,200×52個×1.1=240,240円                                        | 240,240    | 240,240             |
| 8   | 役務費           |                                                                                           |            |                     |
| 9   | 使用料及び<br>賃借料  |                                                                                           |            |                     |
| 10  | 委託費           | 【別添2】<br>秋田杉製給食トレイレーザー・仕上げ・塗装<br>@1,940×52個×1.1=110,968円                                  | 110,968    | 110,968             |
| 11  | その他           |                                                                                           |            |                     |
| 合 計 |               |                                                                                           | 380,000    | 380,000             |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                |                                                                                                            |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体            | オウギタショウガッコウPTA<br>扇田小学校PTA                                                                                 |
| 所 在 地          | 〒018-5701<br>住所 大館市比内町扇田字白砂131<br><br>電話 0186-55-0043 FAX 0186-55-2140<br>Eメール ougita-s@educet.plala.or.jp |
| 代 表 者 名        | シマダ ショウカ<br>嶋田 昌歌                                                                                          |
| 連 絡 先          | 〒018-5701<br>住所 大館市比内町扇田字伊勢堂岱15-8<br><br>電話 090-7935-6509 FAX なし<br>Eメール shoka-shimada@city.odate.lg.jp    |
| 連 絡 者 名        | シマダ ショウカ<br>嶋田 昌歌                                                                                          |
| 設 立 年 月 日      | 昭和23年9月16日                                                                                                 |
| 会 員 数          | 165名                                                                                                       |
| 会員の平均年齢        | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                        |
| 設 立 目 的        | 児童福祉の増進と保護者教育等、地域の社会教育振興に努め、地域の教育的条件、環境の改善を図り、あわせて、家庭・社会の民主的発展を期する                                         |
| 主 な 活 動 実 績    | 別添令和5年度扇田小学校PTA総会資料の令和4年度PTA会務報告のとおり                                                                       |
| 予算規模及び<br>主な財源 | ・団体の予算規模 令和5年度予算 1,614,963円<br>・主な財源 PTA会費                                                                 |
| 備 考            |                                                                                                            |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

実施計画書

1 提案者（団体名）

|            |         |
|------------|---------|
| 秋田県立能代支援学校 | 所在する市町村 |
|            | 能代市     |

2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                     |
|---------------------|
| 令和 6 年度「思い出の森」から学ぼう |
|---------------------|

3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒が、校地内に植樹した木々に関心をもち、育樹活動及び関連した学習活動を行いながら、環境に対する豊かな感性や自分の住む地域を愛する心を育む。</li><li>・教職員が、植樹した木を環境に合わせてよりよく育て、教育活動に活用するための育樹の基本的な知識を得る。</li></ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                   | 実施場所      | 参加者数 |     |
|------------|--------------------------------------------------------|-----------|------|-----|
|            |                                                        |           | 会員   | 非会員 |
| 4 月        | ・ 樹木の手入れ（追肥）<br>（高等部農園芸班、農園芸班担当職員、実習助手）                | 能代支援学校校地内 | 13   |     |
| 5 月 16 日   | ・ 樹木の手入れ（追肥）、樹木の名前調べ及び樹木ラベル付け<br>（小学部、中学部、高等部児童生徒対象）   | 能代支援学校校地内 | 150  |     |
|            | ・ 森づくりに関するアドバイス（教職員対象）                                 | 能代支援学校校地内 | 10   |     |
| 10 月 24 日  | ・ 樹木の手入れ（下草刈り）、樹木の名前調べ及び樹木ラベル付け<br>（小学部、中学部、高等部児童生徒対象） | 能代支援学校校地内 | 150  |     |
|            | ・ 森づくりに関するアドバイス（教職員対象）                                 | 能代支援学校校地内 | 10   |     |
| 参加人数合計(延べ) |                                                        |           | 333  |     |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・ 事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・ 参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

植樹した木々を整備しながら育て、森林を有効活用した教育活動を展開していきたい。／

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

- ・ 応募回数： 7回 （応募回数には今回の応募分は含めない）
- ・ 採択回数： 7回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

- ・ 他の団体等と連携した活動である。

（連携する団体名： )

- ・ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ〇〇枚作成し〇〇に配布、〇〇広報紙に掲載など）

学校のホームページや通信、報道機関等で取組について紹介する。／

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

- ・ 昨年度から本事業を活用して購入した樹木ラベルを校地内「思い出の森」の樹木に取り付けている。樹木ラベルの取り付けを通し、自分の木として関心をもつようになった。
- ・ あきた白神の森倶楽部の方を講師に招き、生徒と職員が樹木の手入れについて教わっている。
- ・ 昨年度は、クイズ形式で、「思い出の森」にある樹木の名前に触れたことで、児童生徒の樹木への興味・関心が広がった。
- ・ 本校児童生徒の「思い出の森作品展」や「思い出の森写真展」を開催するなど教育活動に取り入れている。

9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                       | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                                              | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)       | ・ 外部指導者謝礼金 @10,000 円×2 人×2 回 /                                                                             | 40,000     | 40,000              |
| 2   | 賃 金                   |                                                                                                            |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)          | ・ 外部指導者交通費<br>私用車往復<br>56km×37 円×1 人×2 回×2 人分=8,288 /<br>あきた白神の森倶楽部（藤里町粕毛字阿弥陀岱<br>185-1）<br>（参考：県の私用車旅費単価） | 8,288      | 8,000               |
| 4   | 消 耗 品 代               |                                                                                                            |            |                     |
| 5   | 燃 料 代                 |                                                                                                            |            |                     |
| 6   | 印刷製本代                 |                                                                                                            |            |                     |
| 7   | 資 材 費                 | ・ 樹木ラベル3枚入り（小 70×120mm）<br>458 円×40 セット=18,320 /<br>・ 完熟発酵油粕（大粒 5 kg）<br>1,380 円×10 袋=13,800 /             | 32,120     | 32,000              |
| 8   | 役 務 費                 |                                                                                                            |            |                     |
| 9   | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 |                                                                                                            |            |                     |
| 10  | 委 託 費                 |                                                                                                            |            |                     |
| 11  | 講 習<br>受 講 料          |                                                                                                            |            |                     |
| 12  | そ の 他                 |                                                                                                            |            |                     |
| 合 計 |                       |                                                                                                            | 80,408     | 80,000              |

注）・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                |  |  |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 団 体 名                  | 秋田県立能代支援学校                                                                                                     |  |  |
| 所 在 地                  | 〒016-0005<br>住所 秋田県能代市真壁地字トトメキ沢 135<br><br>電話 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681<br>Eメール noshiro-s@akita-pref.ed.jp |  |  |
| 代 表 者 名                | 校長 佐藤 圭吾、                                                                                                      |  |  |
| 連 絡 先                  | 〒 上記に同じ<br>住所<br><br>電話 FAX<br>Eメール                                                                            |  |  |
| 連 絡 者 名                | 小学部 船山 真生                                                                                                      |  |  |
| 設 立 年 月 日              | 平成6年4月4日                                                                                                       |  |  |
| 会 員 数                  | 児童生徒96名 職員54名（令和5年度現在）                                                                                         |  |  |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                            |  |  |
| 設 立 目 的                | 資料による                                                                                                          |  |  |
| 主 な 活 動 実 績            | 資料による                                                                                                          |  |  |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 円<br>・主な財源                                                                                            |  |  |
| 備 考                    | ・学校の沿革<br>・秋田県立能代支援学校教育プラン                                                                                     |  |  |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|           |         |
|-----------|---------|
| 株式会社 中野造園 | 所在する市町村 |
|           | 能代市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|              |
|--------------|
| ツリークライミング体験会 |
|--------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ツリークライミングというレクリエーション技術を用いて安全に樹木にのぼる体験をしてもらいます。体験を通して、地球における樹木の役割や樹木の特性や特徴等を伝えるとともに、五感で樹木を感じてもらうことで、樹木と友達になり、森や自然環境に関心を持ってもらうことを目的とします。 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期           | 実施内容                                                                        | 実施場所     | 参加者数 |     |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------|------|-----|
|                |                                                                             |          | 会員   | 非会員 |
| ・4月上旬          | ・講習会・体験会会場調査<br>○対象樹木の樹種、枝張り、健全度等<br>○対象樹木の周囲の状況<br>○対象樹木の事前剪定提案<br>○体験者の動線 | 能代市外荒巻林内 | 1    |     |
| ・4月上旬          | ・講習会・体験会会場整備<br>○対象樹木剪定・周辺下刈り、支障枝処理                                         | 〃        | 3    |     |
| ・4月下旬<br>～5月中旬 | ・MRSI 講習会（二日間開催）6人×2日<br>○体験会を開催するための講習会を実施                                 | 〃        | 12   |     |
| ・5月中旬<br>～6月上旬 | ・ツリークライミング体験会1回目                                                            | 〃        | 4    | 18  |
| ・5月中旬<br>～6月上旬 | ・ツリークライミング体験会2回目                                                            | 〃        | 4    | 18  |
| ・6月中旬<br>～下旬   | ・ファシリテーター講習会                                                                | 愛知県（予定）  | 1    |     |
| 参加人数合計(延べ)     |                                                                             |          | 25   | 36  |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

ツリークライミングという手法で樹木に登る経験を多くの人たちに経験してもらうことはもとより、下刈りや間伐、植樹、伐倒木活用等の内容も取り入れていき、森林や植物、自然をより身近に感じてもらえる活動としていきたいです。-

また、本事業においてファシリテータ資格を取得後は、能代山本市域以外にも県内各地ひいては他県へも活動範囲を広げ、より多くの人々に樹木と触れ合う機会を提供していきたいと考えています。-

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

・ 応募回数： 0 回 （応募回数には今回の応募分は含めない）

・ 採択回数： 0 回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

## 6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

・ 他の団体等と連携した活動である。

（連携する団体名： )

☒ 参加者を一般公募している。-

## 7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など）

・ 参加者募集：チラシデータを作成しSNS投稿、WEBサイト更新を実施し周知を行う。また、チラシを500枚印刷し各種活動団体に配布。-

・ 活動の周知：SNS投稿、WEBサイト更新の他、地元新聞や広報紙に記事として取り上げてもらえるよう依頼をする。またパンフレット500部を作成し継続的な周知活動につなげる。-

・ 本事業後も継続して自然や森林、植物に関わる活動を行っていく。-

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

## 8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

・ 秋田県内でツリークライミング体験会を自ら開催できるライセンスを持っている人はいなく、周知度も低い状態である。-

・ 木都を掲げる能代市において、市民が生きた樹木に触れる特別な機会をつくることができる。-

・ 事業後の参加者の樹木に対する価値観の変化を期待できる。-

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                       | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)              | 事業費<br>(円)        | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------------|------------------------------------------------------------|-------------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)       |                                                            |                   |                     |
| 2   | 賃 金                   |                                                            |                   |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)          | 体験会会場調査 講師旅費 18,700 円×1 台×1 回<br>体験会 講師旅費 18,700 円×2 台×2 回 | 18,700<br>74,800  | 18,700<br>74,800    |
| 4   | 需 用 費<br>消 耗 品 代      |                                                            |                   |                     |
| 5   | 燃 料 代                 |                                                            |                   |                     |
| 6   | 印刷製本代                 | チラシ、パンフレット /<br>デザイン料、印刷代 (各 5 0 0 部) /                    | 60,500            | 60,500              |
| 7   | 資 材 費                 |                                                            |                   |                     |
| 8   | 役 務 費                 | 傷害保険料 9,900 円/回×2 回 /                                      | 19,800            | 19,800              |
| 9   | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 | 簡易トイレ借上げ料 14,300 円/月×2 か月<br>ツリークライミングギア使用料 23,100 円×2 回 / | 28,600<br>46,200  | 28,600<br>46,200    |
| 10  | 委 託 費                 | 体験会会場調査 17,600 円×1 回 /<br>体験会×2 回 17,600 円×2 回 /           | 17,600<br>35,200  | 17,600<br>35,200    |
| 11  | 講 習<br>受 講 料          | MRS1 講習会 受講料 4 人×36,000 円<br>ファシリテーター講習会 受講料 1 人           | 144,000<br>68,000 | 30,600<br>68,000    |
| 12  | そ の 他                 |                                                            |                   |                     |
| 合 計 |                       |                                                            | 513 千円            | 400 千円              |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                               |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 株式会社中野造園 〓                                                                                                                    |
| 所 在 地                  | 〒016 - 0001<br>住所 秋田県能代市外荒巻字北山の上 13<br><br>電話 0185 - 57 - 4408 FAX 0185 - 57 - 4408<br>Eメール nakanozoen@gmail.com 〓            |
| 代 表 者 名                | 中野創太                                                                                                                          |
| 連 絡 先                  | 〒016 - 0001 〓<br>住所 秋田県能代市外荒巻字北山の上 13 〓<br><br>電話 090-7524-0634 FAX 0185 - 57 - 4408 〓<br>Eメール midorigakirakira@yahoo.co.jp 〓 |
| 連 絡 者 名                | 中野創太                                                                                                                          |
| 設 立 年 月 日              | 令和2年 2月 1日                                                                                                                    |
| 会 員 数                  | 従業員数 4 名                                                                                                                      |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                           |
| 設 立 目 的                | 樹木や草花の手入れや植栽を行うとともに、樹木や草花の素晴らしさを実感できる機会を提供するところで、人も緑も元氣でいることができる持続可能な地域環境づくり活動を行うことを目的とします。                                   |
| 主 な 活 動 実 績            | ・ 能代市内イベントに自生樹種を活用した体験ブースとして参加・・・4回、<br>苗木ポットづくり体験2回、クリスマスツリー飾り付け体験、庭づくり体験                                                    |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・ 団体の予算規模 100 千 〓 円<br>・ 主な財源 事業活動収益による 〓                                                                                     |
| 備 考                    |                                                                                                                               |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 株式会社きららホールディングス | 所在する市町村 |
|                 | 秋田市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|           |
|-----------|
| きらら木育体験活動 |
|-----------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| この事業において、市街地で生活し普段木に触れる機会の少ない保育園児が、木育施設での木工クラフト体験や原木シイタケの植菌等の活動を経験することを通じ、それを原体験として森林や木への興味や関心が育まれることを目指します。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                                                                        | 実施場所           | 参加者数 |     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|------|-----|
|            |                                                                                                             |                | 会員   | 非会員 |
| 2月中旬       | シイタケ菌駒打ち体験<br>（きらら保育園の園児に加え、社会福祉法人すこやか3園の4歳児に参加を呼びかけ、シイタケの原木栽培体験を実施。）                                       | 南通りすこやか<br>保育園 | 11人  | 28人 |
| 3月下旬       | 木製玩具体験および木工クラフト体験<br>（きらら保育園の5歳児に加え、社会福祉法人すこやか3園の5歳児に参加を呼びかけ、鳥海山木のおもちゃ館において、木のおもちゃの良さを感じたり、樹のキーホルダーづくりを体験。） | 鳥海山<br>木のおもちゃ館 | 4人   | 29人 |
| 参加人数合計(延べ) |                                                                                                             |                | 15人  | 57人 |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

子ども達と保育者が共にシイタケの植菌体験を行ったり、木のおもちゃに触れる経験を契機として、保育者の「木育」や「森林」についての興味が育ち理解が深まることを期待し、そこから木育に関する資格の取得につなげたり、シイタケ栽培や木工クラフトを保育の中に取り込んでいきたいと考えています

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

- ・ 応募回数： 1回 （応募回数には今回の応募分は含めない）
- ・ 採択回数： 1回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

- ☒ 他団体等と連携した活動である。  
（連携する団体名：社会福祉法人すこやか）
- ・ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など）

各活動の様子を撮影し、写真を活用したおたよりを保護者へ配布するほか、園内に掲示して対象クラスの保護者以外にも活動内容を伝えていく。また、法人のホームページに活動の様子を掲載することで、一般の方への周知も図っていく。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

- ・ コナラの原木を栄養として育つシイタケの栽培体験を通して、木の「いのち」のつながりを感覚として理解し、木や森について知りたいという興味の種が生まれることが期待できます。
- ・ 木のおもちゃでの遊びや木工クラフト体験を幼児期に経験することで、木が身近な存在であるという感覚が育まれるだけでなく、木の香りや肌触りといった特徴や良さを体感できます。

9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                       | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                                                                                                                | 事業費<br>(円)                                          | 希望する<br>補助金額<br>(円)                       |
|-----|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)       |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 2   | 賃 金                   |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)          |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 4   | 消 耗 品 代               |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 5   | 燃 料 代                 |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 6   | 印刷製本代                 |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 7   | 資 材 費                 | <b>【鳥海山木のおもちゃ館】</b><br>木材クラフトセット @600 円×24 人<br><b>【シイタケ菌駒打ち体験】</b><br>コナラ栽培用原木 @998 円×30 本<br>シイタケ種駒 (1000 駒入) @2,980 円×1 個<br>こども用軍手 @178 円×30 個<br>大人用軍手 12 双組 @498 円×1 組 | 、 14,400<br>、 29,940<br>、 2,980<br>、 5,340<br>、 498 | 14,400<br>29,940<br>2,980<br>5,340<br>498 |
| 8   | 役 務 費                 |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 9   | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 | <b>【鳥海山木のおもちゃ館】</b><br>バス借り上げ料 A.@101,200×1 台<br>B.@86,900×1 台<br>※ A. 南通りすこやか保育園・きらら保育園 園児・職員<br>B. こどものいえ保育園・こぐま保育園 園児・職員<br>入館料 @500 円×24 人                               | 、 101,200<br>、 86,900<br>、 12,000                   | 101,200<br>86,642<br>12,000               |
| 10  | 委 託 費                 |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 11  | 講 習<br>受 講 料          |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 12  | そ の 他                 |                                                                                                                                                                              |                                                     |                                           |
| 合 計 |                       |                                                                                                                                                                              | 、 253,258                                           | 、 253,000                                 |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

様式第4号（第6関係）

応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                               |  |  |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 団 体 名                  | 株式会社きららホールディングス                                                                                                                               |  |  |
| 所 在 地                  | 〒010-0001<br>住所 秋田市中通5丁目10-14<br>電話 018-874-8102 FAX 018-874-8103<br>Eメール sukoyaka@hanazuna.or.jp                                             |  |  |
| 代 表 者 名                | 代表取締役 鈴木 嘉彦                                                                                                                                   |  |  |
| 連 絡 先                  | 〒010-0001<br>住所 秋田市中通5丁目10-14<br>電話 018-874-8102 FAX 018-874-8103<br>Eメール sukoyaka11@hanazuna.or.jp                                           |  |  |
| 連 絡 者 名                | 社会福祉法人すこやか<br>和泉 寛                                                                                                                            |  |  |
| 設 立 年 月 日              | 平成22年12月                                                                                                                                      |  |  |
| 会 員 数                  | 30名                                                                                                                                           |  |  |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                           |  |  |
| 設 立 目 的                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまやかな配慮で、幼児期の育ちを助けます。</li> <li>・月齢にあった体験を積み重ね、豊かな心を育みます。</li> <li>・地域の子育てセンターとしての役割を果たします。</li> </ul> |  |  |
| 主 な 活 動 実 績            | 保育所運営                                                                                                                                         |  |  |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 円<br>・主な財源                                                                                                                           |  |  |
| 備 考                    |                                                                                                                                               |  |  |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 様式第2号（第6関係）

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|            |         |
|------------|---------|
| 社会福祉法人すこやか | 所在する市町村 |
|            | 秋田市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|            |
|------------|
| すこやか森林体験活動 |
|------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

この事業において、市街地に生活し普段木に触れる機会の少ない保育園児が森での自然体験や季節の変化に伴う森の表情の移り変わりを体験することを通し、それを原体験として森林や木への興味や関心が育まれることを目指します。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                                                  | 実施場所    | 参加者数 |     |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|-----|
|            |                                                                                       |         | 会員   | 非会員 |
| 4月下旬       | 「男鹿の森」現地下見                                                                            | 男鹿市北浦真山 | 2人   | 1人  |
| 5月下旬       | 「男鹿の森」春の自然体験<br>（社会福祉法人すこやか3園の5歳児と保護者に加え、きらら保育園の園児と保護者に参加を呼びかけ、男鹿の森において春の自然体験・観察を実施。） | 男鹿市北浦真山 | 51人  | 19人 |
| 11月上旬      | 「男鹿の森」秋の自然体験<br>（社会福祉法人すこやか3園の5歳児と保護者に加え、きらら保育園の園児と保護者に参加を呼びかけ、男鹿の森において秋の自然体験・観察を実施。） | 男鹿市北浦真山 | 51人  | 19人 |
| 参加人数合計(延べ) |                                                                                       |         | 104人 | 39人 |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

子ども達と、保護者や保育者といった大人が共に森林での活動を体験することを契機として、子どもだけでなく大人も「木育」や「森林」についての興味が育ち理解が深まることを期待し、そこから木育に関する資格の取得につなげたり、保育や家庭での子育てに森林での活動が取り込まれるようになればと考えています

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

- ・ 応募回数： 1回 （応募回数には今回の応募分は含めない）
- ・ 採択回数： 1回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

- ☒ 他団体等と連携した活動である。  
（連携する団体名：株式会社きららホールディングス ）
- ・ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ〇〇枚作成し〇〇に配布、〇〇広報紙に掲載など）

活動の様子を撮影し、写真を活用したおたよりを保護者へ配布するほか、園内に掲示して対象クラスの保護者以外にも活動内容を伝えていく。また、法人のホームページに活動の様子を掲載することで、一般の方への周知も図っていく。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

- ・ 幼児期に森林での自然体験をすることを通じて、木の香りや、新緑や紅葉といった色彩の変化、木の種類による樹皮や枝の感触の違いなど、五感が刺激され豊かな感性の育ちにつながります。
- ・ 森林での体験を通して木や森に対する興味が生まれ、将来的な森林環境への関心の礎となっていくことが期待されます。

9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                    | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                                                           | 事業費<br>(円)             | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)    | 「男鹿の森」謝礼金 @10,000 円×2 回                                                                                                 | 20,000                 | 20,000              |
| 2   | 賃 金                |                                                                                                                         |                        |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)       | 南通りすこやか保育園～「男鹿の森」<br>私用車往復 @20 円 (法人規定による) ×110km×2 台                                                                   | 4,400                  | 4,400               |
| 4   | 消 耗 品 代            |                                                                                                                         |                        |                     |
| 5   | 燃 料 代              |                                                                                                                         |                        |                     |
| 6   | 印刷製本代              |                                                                                                                         |                        |                     |
| 7   | 資 材 費              |                                                                                                                         |                        |                     |
| 8   | 役 務 費              |                                                                                                                         |                        |                     |
| 9   | 使用料及<br>び<br>賃 借 料 | 【男鹿の森】<br>バス借り上げ料 A.@116,380 円×2 回<br>B.@99,440 円×2 回<br>※A.南通りすこやか保育園・きらら保育園 園児・保護者・職員<br>B.こどものいえ保育園・こぐま保育園 園児・保護者・職員 | 、 232,760<br>、 198,880 | 232,760<br>142,840  |
| 10  | 委 託 費              |                                                                                                                         |                        |                     |
| 11  | 講 習<br>受 講 料       |                                                                                                                         |                        |                     |
| 12  | そ の 他              |                                                                                                                         |                        |                     |
| 合 計 |                    |                                                                                                                         | 、 456,040              | 、 400,000           |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

様式第4号（第6関係）

応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                              |  |  |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 団 体 名                  | 社会福祉法人すこやか                                                                                                                                   |  |  |
| 所 在 地                  | 〒010-0001<br>住所 秋田市中通5丁目10-14<br>電話 018-874-8102 FAX 018-874-8103<br>Eメール sukoyaka@hanazuna.or.jp                                            |  |  |
| 代 表 者 名                | 理事長 鈴木 嘉彦                                                                                                                                    |  |  |
| 連 絡 先                  | 〒010-0001<br>住所 秋田市中通5丁目10-14<br>電話 018-874-8102 FAX 018-874-8103<br>Eメール sukoyaka11@hanazuna.or.jp                                          |  |  |
| 連 絡 者 名                | 社会福祉法人すこやか<br>和泉 寛                                                                                                                           |  |  |
| 設 立 年 月 日              | 平成23年1月1日                                                                                                                                    |  |  |
| 会 員 数                  | 60名                                                                                                                                          |  |  |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                          |  |  |
| 設 立 目 的                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまやかな配慮で、幼児期の育ちを助けます。</li> <li>・月齢にあった体験を積み重ね、豊かな心を育みます。</li> <li>・地域の子育てセンターとしての役割を果します。</li> </ul> |  |  |
| 主 な 活 動 実 績            | 保育所運営                                                                                                                                        |  |  |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 円<br>・主な財源                                                                                                                          |  |  |
| 備 考                    |                                                                                                                                              |  |  |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

様式第2号（第6関係）

実施計画書

1 提案者（団体名）

|               |         |
|---------------|---------|
| 秋田県木材青壮年団体連合会 | 所在する市町村 |
|               | 秋田市     |

2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                   |
|-------------------|
| 秋田県児童・生徒木工工作コンクール |
|-------------------|

3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

木工工作を通じて多くの児童・生徒が「木」に触れて、自由な発想で創造活動を行うことで、木材に親しむ機会を設け、木材の良さを知ってもらふ。また、その活動を通じて、木材利用に意識を向け、木材の利用が森林を守ることにつながることを伝える。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                             | 実施場所    | 参加者数 |     |
|------------|--------------------------------------------------|---------|------|-----|
|            |                                                  |         | 会員   | 非会員 |
| 6月～11月中旬   | 作品募集等<br>（秋田県内の小中学校にポスター、リーフレットを県内小中学校等に配布し、周知等） | 秋田県内    |      | 50  |
| 12月上旬      | 審査会<br>（応募作品の中から最優秀賞、優秀賞等を決定する。）                 | 秋田県木材会館 | 10   |     |
| 2月下旬       | 結果通知発送、賞状・賞品発送作業                                 | 秋田県木材会館 | 10   |     |
| 参加人数合計（延べ） |                                                  |         | 20   | 50  |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

児童生徒が木工工作をする機会が減少傾向にあるため、木工工作コンクールを開催し木材を利用した作品制作の機会を設け、多くの児童・生徒に参加してもらい、木材に触れる・木材を知る機会を広げていきたい。また、この取り組みを今後継続し、後々は木工体験イベント、学校等への出前授業等の活動の場を広げ、その中で木育活動を検討したい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・応募回数: 2回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・採択回数: 2回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

・他の団体等と連携した活動である。

(連携する団体名: )

☒ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例: チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

- ・ポスター400枚、チラシ2,000枚を作成し、秋田県内の小学校・中学校に配布。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

- ・木工工作を通して、「木材」の特性を学び、再生可能な循環型資源としての「木材」をより身近に感じてもらいたい。
- ・切ったり、削ったり、組み合わせながら自由な発想で新たな可能性の創造に繋がる

9 その他

- ・令和4年度 応募総数29作品
- ・令和5年度 応募総数8作品

## 事業経費内訳書

| 項 目 |              | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                                                                                                                                      | 事業費<br>(円)                                               | 希望する<br>補助金額<br>(円)                            |
|-----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1   | 報 償 費        |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 2   | 賃 金          |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 3   | 旅 費          |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 4   | 消 耗 品 代      | 梱包資材（賞品発送用）<br>ゆうパック袋（小） 9枚×100円＝900円<br>受賞記念品（最優秀賞3人、優秀賞6人）<br>9個（木工品）×@3,520＝31,680円<br>木材賞状（最優秀賞3人、優秀賞6人）<br>9枚×@8,030＝72,270円                                                                  | 、 900<br>、 31,680<br>、 72,270                            | 900<br>31,680<br>72,270                        |
| 5   | 燃 料 代        |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 6   | 印刷製本代        | ポスター400枚・リーフレット2,000枚                                                                                                                                                                              | 、 140,360                                                | 140,360                                        |
| 7   | 資 材 費        |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 8   | 役 務 費        | 通信運搬費（案内、印刷物送付）<br>、140円×350通＝49,000円<br>通信運搬費（夏休み明け後案内送付）<br>、120円×350通＝42,000円<br>通信運搬費（締切間近案内送付）<br>、120円×350通＝42,000円<br>通信運搬費（結果発表）<br>、120円×350通＝42,000円<br>、1,130円×9受賞者＝10,170円（ゆうパック80サイズ） | 、 49,000<br>、 42,000<br>、 42,000<br>、 42,000<br>、 10,170 | 49,000<br>42,000<br>42,000<br>11,620<br>10,170 |
| 9   | 使用料及び<br>賃借料 |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 10  | 委 託 費        |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 11  | 講 習<br>受 講 料 |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 12  | そ の 他        |                                                                                                                                                                                                    |                                                          |                                                |
| 合 計 |              |                                                                                                                                                                                                    | 、 430,380                                                | 、 400,000                                      |

注）・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 様式第4号（第6関係）

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                                               |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 秋田県木材青壮年団体連合会                                                                                                                                                 |
| 所 在 地                  | 〒010-0003<br>住所 秋田市東通二丁目7番35号<br>秋田県木材産業協同組合連合会内<br>電話 018-837-8091 FAX 018-837-8093<br>Eメール AEL03072@nifty.com                                               |
| 代 表 者 名                | 会長 木村 大騎                                                                                                                                                      |
| 連 絡 先                  | 〒010-0003<br>住所 秋田市東通二丁目7番35号<br>秋田県木材産業協同組合連合会内<br>電話 018-837-8091 FAX 018-837-8093<br>Eメール AEL03072@nifty.com                                               |
| 連 絡 者 名                | 事務局 嵯峨 直人                                                                                                                                                     |
| 設 立 年 月 日              | 平成3年5月23日                                                                                                                                                     |
| 会 員 数                  | 11 名                                                                                                                                                          |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                                           |
| 設 立 目 的                | 秋田県内の木材産業に携わる青壮年経営者の交流と親睦を通じ、相互の啓発に努め、知識と品位の向上を図り、斬新な創意と行動力をもって、木材・林業に関する社会的な啓蒙活動などを行うことによって、木材産業の近代化に寄与し、社会に貢献することを目的とする。                                    |
| 主 な 活 動 実 績            | ・令和5年度 秋田県児童・生徒木工工作コンクール<br>・令和4年度 秋田県児童・生徒木工工作コンクール<br>・令和3年度 第46回全国児童・生徒木工工作コンクール秋田大会<br>・令和2年度 第45回全国児童・生徒木工工作コンクール秋田大会<br>・令和元年度 第44回全国児童・生徒木工工作コンクール秋田大会 |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 350,000 円<br>・主な財源 会費収入                                                                                                                              |
| 備 考                    | ・令和5年度秋田県児童・生徒木工工作コンクール リーフレット<br>・令和4年度通常総会議案書                                                                                                               |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

様式第2号（第6関係）

実施計画書

1 提案者（団体名）

|                |         |
|----------------|---------|
| MV東北秋田緑の少年団育成会 | 所在する市町村 |
|                | 秋田市     |

2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                                     |
|-------------------------------------|
| アクティブラーニング～感性を磨く秋田の自然を丸ごと体験～（Part3） |
|-------------------------------------|

3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| 自分の五感をフルに使って、秋田の自然の触れ、感性を磨き、自然は大切な資源・資本であり、秋田の人の創造と豊かさの原点であると理解し、行動を動かす原点にする。 |
|-------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                    | 実施場所     | 参加者数 |                |
|------------|---------------------------------------------------------|----------|------|----------------|
|            |                                                         |          | 会員   | 非会員            |
| 6月2日       | 県南真人山の里山の自然観察会…森林インストラクターの案内と解説で、里山と暮らしの過去・現在をしり、未来を考える | 真人山      | 14人  | 10人<br>（他講師3名） |
| 9月15日      | 駒ヶ岳の自然観察会…夏と秋の間の高山植物から生きる力を観察する                         | 駒ヶ岳      | 15人  | 25人<br>他講師5名   |
| 10月7日      | 秋田県の木「秋田杉」の巨木、木工研、木の学校でモノづくり体験を通して、杉を理解する。              | 能代・二ツ井方面 | 15人  | 10人<br>（他講師）   |
| 参加人数合計（延べ） |                                                         |          | 44人  | 45人            |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

・(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

自然に対して責任ある行動ができる人材の育成を目指す。具体的には、植樹・手入れ、利用など自然の循環の各場所へ積極的に参加する。

2年間の実績でやっと社会に緑の少年団の活動についての認知が広がりつつある。継続することが重要である。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

・応募回数：2 回 (応募回数には今回の応募分は含めない)

・採択回数：2 回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

・他の団体等と連携した活動である。

(連携する団体名：)

・参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

1. 新聞を読む世代向けには魁催し欄が有効

2. 若い世代にはQRコードを利用したチラシ、広報をする

(片面カラー・片面白黒 A3 判 10 枚、A4 判 10 枚、AU、ハーモニープラザ、遊学舎、東部コミセン、東地区コミセン、県児童会館等、秋田市広報等)

3. チラシを少なくし、SNS の利活用をすすめる

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

1. アクティブラーニング

2. センスオブワンダー

3. 秋田の森林について特徴を知り、理解を深める

4. 自然に対して責任ある行動ができる人を育てること目標とする。

## 9 その他

育樹祭

令和9年秋田県開催全国植樹祭に向けて団員・会員を増やす。

様式第3号（第6関係）

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                 | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)  | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------|------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等) | 木の学校指導料【10月7日5名分】                              | 7,340      | 7,340               |
|     |                 | 自然観察指導員【6月2日1名】5,000×1名                        | 5,000      | 5,000               |
| 2   | 賃 金             |                                                |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)    | 9月伴走車ガソリン代(200km×1台)@37×200km                  | 7,400      | 7,400               |
|     |                 | 9月講師バス代(アルパコマクサー駒ヶ岳8合目、<br>1,260×5名)           | 6,300      | 6,300               |
| 4   | 消 耗 品 代         |                                                |            |                     |
| 5   | 燃 料 代           |                                                |            |                     |
| 6   | 印刷製本代           | チラシデザイン料(片面:美大生)                               | 10,000     | 10,000              |
|     |                 | カラーコピー(A3:10枚、A4:10枚)                          | 900        | 900                 |
|     |                 | チラシ裏面、参加案内・送付状(@2×100)                         | 200        | 100                 |
| 7   | 資 材 費           | 木の学校体験きつと@1,000×15人(子どものみ、引<br>率大人、一般参加は自費で体験) | 15,000     | 15,000              |
| 8   | 役 務 費           | 保険料(6月1310円、9月2100円、10月1310円)                  | 4,720      | 4,720               |
|     |                 | 見積書添付                                          |            |                     |
|     |                 | 切手代(@84×50人)                                   | 4,200      | 4,200               |
|     |                 | 振込手数料【330×3回】                                  | 990        | 990                 |

|    |          |                                                                 |                               |                               |
|----|----------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 9  | 使用料及び賃借料 | バス借り上げ代（見積書添付）<br>6月 110,460 円<br>9月 112,200 円<br>10月 114,740 円 | 110,460<br>112,200<br>114,740 | 110,460<br>112,200<br>114,390 |
| 10 | 委託費      |                                                                 |                               |                               |
| 11 | 講習受講料    |                                                                 |                               |                               |
| 12 | その他      |                                                                 |                               |                               |
|    | 合計       |                                                                 | 339,450                       | 339,000                       |

注）・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

補足)

1. 6月2日は十文字からの合流参加者を含める。

講師は酒井浩氏及び自然観察指導員の仲間、午後は中学生のお兄さんから、子どもたちが自然観察の楽しみ方を教えてもらう時間を1時間ほど設ける。子供から子供へ「学びあい」を学ぶ機会とする。

2. 駒ヶ岳は、高山植物の宝庫である。低地では見られない貴重な植物たちの、生きる力から、自然の強さを学ぶ機会とする。林業、自然観察のベテランの方がたのボランティアで、実施する。最大40人とする。駒ヶ岳8合目での合流も視野に募集する。バス代は各自負担とする。

3. 天然秋田杉の林を見て、杉のまっすぐな姿と、長い間そこに生きていることができたのはなぜかを考える。自然保護、保全の重要性をしり、自然全体として、人間もそれを支えているのだとしり、今後と活動を考える機会とする。杉材の活用について、研究所の取り組みや今大切なことを聞く。木の学校では、木でつくり、自分や家族が大切に長く使うことで炭素の備蓄に繋がることを知る機会とする。自然に帰る材料でもある。5人の指導者による指導により、キットを完成させる。達成感も味わうことができ自己の自信につながることを願う。子どものみキット代は主催者負担とする。大人は各自負担。

日本一の杉の案内は秋田県緑化推進委員会より紹介してもらう予定。

4. バス代は昨年10月より改定、保険代も4月以降上がる見込みであることから、大型バスから中型に変更し、参加者にも負担してもらいながら、多くの参加者への周知を図りたい。

## 様式第4号（第6関係）

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | MV東北秋田緑の少年団育成会                                                                                                                                                                                                          |
| 所 在 地                  | 〒010-0043<br>住所 秋田市桜ガ丘 1-6-12<br><br>電話 018-835-2751 FAX 018-835-2751<br>Eメール cfi_oysk@cna.ne.jp                                                                                                                        |
| 代 表 者 名                | 小山 澄子                                                                                                                                                                                                                   |
| 連 絡 先                  | 〒010-0043<br>住所 秋田市桜ガ丘 1-6-12<br><br>電話 018-835-2751 FAX 018-835-2751<br>Eメール cfi_oysk@cna.ne.jp                                                                                                                        |
| 連 絡 者 名                | 小山 澄子                                                                                                                                                                                                                   |
| 設 立 年 月 日              | 平成26年 12 月 1 日                                                                                                                                                                                                          |
| 会 員 数                  | 22 名                                                                                                                                                                                                                    |
| 会員の平均年齢                | 11 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                                                                                                  |
| 設 立 目 的                | 秋田県内で学校以外の団体の設立は初めてである。<br>秋田の自然の中で思いっきり遊んだいう体験を通して、自然の大切さに気づくことで、生きる力を身に着けることができる。<br>親と子の自立を目指し、障がい者も分け隔てなく仲良くできるコミュニケーション力を磨き、お互いに大事な仲間として楽しく活動する。<br>他県との交流、特に秋田県と岩手県をよく軸連携を意識して活動することで、災害時における相互連携づくりで確認できるようになれる。 |
| 主 な 活 動 実 績            | 4月緑の募金、6月東北森林管理局イベント、全国一斉水質調査、7月岩手緑の少年団大会参加、8月秋田県緑の交流集会等<br>6月                                                                                                                                                          |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 580,000 円<br>・主な財源 県民提案事業 400,000 円、県緑水 140,000、寄付 40,000 円                                                                                                                                                    |
| 備 考                    |                                                                                                                                                                                                                         |

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|                  |                |
|------------------|----------------|
| あきた木育応援団 木sodate | 所在する市町村<br>秋田市 |
|------------------|----------------|

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                                |
|--------------------------------|
| （子）<br>親子で木の体験、木に触れる“木（こ）育て”事業 |
|--------------------------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

秋田杉や県産木材を材料とした日用品などを親子で製作し、家庭で子供に使用させることで日常的に工芸品や秋田杉に慣れ親しみ、使い心地のよさや木のぬくもりを知ってもらう。親も製作を通して、さらには実際に専門家と一緒に森を歩く体験を併せて行うことで森林や秋田杉、環境について深く学ぶことを目指す。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期          | 実施内容                                                                  | 実施場所             | 参加者数 |     |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------|------|-----|
|               |                                                                       |                  | 会員   | 非会員 |
| 6月15日<br>（土）  | 男鹿の森歩き（1/2）<br>男鹿の森をガイドの方と巡り、森を作る植物を観察、現在の森林環境について学ぶ。                 | 男鹿真山             | 2    | 38  |
| 7月27日<br>（土）  | 木のお皿づくり<br>外部指導者の指導の下、木の特性を学び製作体験を実施。                                 | 秋田県環境と文化<br>のむら  | 2    | 28  |
| 9月7日<br>（土）   | カッティングボード作り<br>外部指導者の指導の下、秋田杉と白樺のカッティングボードを製作し、それぞれの木の特性や手触りの違いを体験する。 | 太平山自然学習センターまんたらめ | 2    | 38  |
| 10月19日<br>（土） | 男鹿の森歩き（2/2）<br>男鹿の森をガイドの方と巡り、森を作る植物を観                                 | 男鹿真山             | 2    | 38  |

|            |                                         |  |   |     |
|------------|-----------------------------------------|--|---|-----|
|            | 察、現在の森林環境について学ぶ。また、初夏と、秋の植物の違いや変化を観察する。 |  |   |     |
| 参加人数合計(延べ) |                                         |  | 8 | 142 |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

##### 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

将来的には森での植樹やきのこの植菌などの『育む』という体験も加えて取り入れ、子どもと一緒に樹木などの生長を観察し、より自然・森林環境を学べる活動にしていきたい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

・応募回数：2回（応募回数には今回の応募分は含めない）

・採択回数：2回（採択回数には今回の応募分は含めない）

##### 6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

・他の団体等と連携した活動である。

（連携する団体名：

参加者を一般公募している。

##### 7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など）

子育てひろばへの案内チラシ設置(チラシ100枚作成)、SNS等にて開催の周知

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

##### 8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

・他団体は、ほとんどが子どもメインの体験活動だが、当団体は子どもたちに伝えていくためにも、親もしっかりと学ぶことが大切だと考え、子どもも学び親も学ぶ、親子で参加する企画としている。

・秋田を代表する男鹿の森林を歩き、豊かな森を形成する植物を観察し、専門家の話を聞くことで、樹木や植物への知識を深め、現在の森林環境のことを学び・考える企画としている。さらに、季節を変え2度訪れることで、森の四季の営みを観察することができ、森への関心と知識を深めることを狙いとしている。

・プラスチック製品が溢れている世の中で、木製品のお皿やカッティングボードを親子で製作し、日常で使用するにより、プラスチック製品にない木の温もりや感触を感じ、併せて木の特性を学べる企画とした。

・カッティングボード作りでは、親子でそれぞれ違う木材（秋田杉、白樺）を加工することによって、互いの木の質感や特性の違いを感じながら作業を進めることができ、楽しんで木に親しめる企画とした。

・作り上げた作品を長く愛用頂けるよう、その後のメンテナンス方法もしっかりとお伝えする。こうした知識をその場限りでなく、その後の子育てにおいてもしっかりと根付かせ、サスティナビリティの向上にも繋げていきたい。

## 9 その他

様式第3号（第6関係）

### 事業経費内訳書

| 項 目 |                 | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの算出根拠を記入)                                                                                                                                                                                                            | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等) | 外部指導者謝礼<br>@10,000 円×8 名=80,000 円<br>6/15 2 名、7/27 2 名、9/7 2 名、10/19 2 名                                                                                                                                                                             | 80,000     | 80,000              |
| 2   | 賃 金             |                                                                                                                                                                                                                                                      |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)    | *外部指導者交通費<br>五城目町大川谷地～五城目町上樋口 2.5 km×37 円×2=185 円(7/27)<br>秋田市濁川～仁別 14.5km×37 円×2×2 人=2,146 円(9/7)<br>*打合せ交通費(私用車往復)<br>※対応可能な会員が向かうため、中間地点の秋田駅付近で<br>算定<br>秋田市内～真山神社駐車場 50km×37×2×2 回=7,400 円<br>(6 月,10 月)<br>秋田市内～五城目町上樋口 31km×37×2=2,294 円 (7 月) | 12,025     | 12,025              |
| 4   | 消 耗 品 代         | *森歩き時の消耗品<br>救急セット一式 @18,581 円×1 18,581 円<br>軍手(男性用・女性用)※体が木や石に挟まれた場合、除<br>去時の手の保護用。対応者の安全のため、男・女用各 1<br>@110 円×2 220 円<br>熊スプレー @23,100 円×5 115,500 円<br><br>*お皿・カッティングボード製作時の消耗品<br>養生テープ(5 巻き入り) @1,034 円×1 1,034 円                               | 137,678    | 137,665             |

|    |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                |                  |
|----|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------------------|
|    |                       | マスク(普通・小さめ)※粉塵吸い込み防止<br>$\textcircled{\sim}1,078 \times 1 \quad \sim 1,078 \text{ 円}$<br>鉛筆※やすり掛けの目安に木材を塗りつぶす際に使用<br>$\textcircled{\sim}110 \text{ 円} \times 2 \quad \sim 220 \text{ 円}$<br>包装材(手提げ袋 50 枚入り)※製作物完成後、持ち帰り<br>用<br>$\textcircled{\sim}1,045 \text{ 円} \times 1 \quad \sim 1,045 \text{ 円}$ |                                |                  |
| 5  | 燃 料 代                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                |                  |
| 6  | 印刷製本代                 | チラシカラーコピー30 円 (片面) $\times 100$ 枚                                                                                                                                                                                                                                                                        | $\sim 3,000$                   | 3,000            |
| 7  | 資 材 費                 | 木のお皿材料費 $\textcircled{\sim}5,000 \text{ 円} \times 15 \text{ 個}$<br>カッティングボード材料費 $\textcircled{\sim}2,000 \text{ 円} \times 40 \text{ 個}$                                                                                                                                                                  | $\sim 75,000$<br>$\sim 80,000$ | 30,000<br>80,000 |
| 8  | 役 務 費                 | 保険料 $\textcircled{\sim}28 \text{ 円} \times 40 \text{ 人} = 1,120 \text{ 円} \times 3 \text{ 回}$<br>$\textcircled{\sim}28 \text{ 円} \times 30 \text{ 人} = 840 \text{ 円} \times 1 \text{ 回}$<br>保険料振込手数料 $\textcircled{\sim}110 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} = 110 \text{ 円}$                                | $\sim 4,200$<br>$\sim 110$     | 4,200<br>110     |
| 9  | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 | 会場使用料<br>$\textcircled{\sim}800 \times 5 \text{ h} = 4,000 \text{ 円}$ まんたらめ研修スペース                                                                                                                                                                                                                        | $\sim 4,000$                   | 4,000            |
| 10 | 委 託 費                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                |                  |
| 11 | 講 習<br>受 講 料          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                |                  |
| 12 | そ の 他                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                |                  |
|    | 合 計                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | $\sim 396,013$                 | $\sim 351,000$   |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料 (見積書等) を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                         |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | あきた木育応援団 木 sodate                                                                                                       |
| 所 在 地                  | 〒010-0043<br>住所 秋田市桜ガ丘 2-5-9<br><br>電話 080-3194-1124 FAX -<br>Eメール .suidreams0127a@yahoo.co.jp                          |
| 代 表 者 名                | 林 美佳                                                                                                                    |
| 連 絡 先                  | 〒010-0043<br>住所 秋田市桜ガ丘 2-5-9<br><br>電話 080-3194-1124 FAX -<br>Eメール .suidreams0127a@yahoo.co.jp                          |
| 連 絡 者 名                | 林 美佳                                                                                                                    |
| 設 立 年 月 日              | 2021 年 12 月 17 日                                                                                                        |
| 会 員 数                  | 2 名                                                                                                                     |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                     |
| 設 立 目 的                | 秋田の伝統工芸品に触れたり、制作したり、森林を歩き親しむことで子育て世代の親子が秋田の森林・自然環境に興味を持つことを目的とする                                                        |
| 主 な 活 動 実 績            | 令和4年度秋田県水と緑の森づくり税事業<br>令和5年度秋田県水と緑の森づくり税事業<br>6/1 ネイチャーゲーム<br>7/30 森歩き・木工フリーワークショップ<br>R5.1/13 冬の森で遊ぼう！in まんたらめ（自己負担開催） |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 340,175 円（R4年度） 475,235 円（R5年度）<br>・主な財源 秋田県水と緑の森づくり税助成金及び一部自己負担金                                              |
| 備 考                    |                                                                                                                         |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。 ※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|         |         |
|---------|---------|
| 和田公園愛護会 | 所在する市町村 |
|         | 秋田市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|           |
|-----------|
| 和田緑の里山づくり |
|-----------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

今、人々は日常生活の場で隣人同士の交流がうすれ、世代間の核家族が進み、昔の社会環境が崩壊しつつあります。愛護会では、公園の一部分を活用し「和田緑の里山づくり」事業をボランティアで行い、幼稚園・小学生・中学生、一般の利用者を含めて、ふる里を学習できる場所づくりを目指しております。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                            | 実施場所            | 参加者数 |     |
|------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------|------|-----|
|            |                                                                 |                 | 会員   | 非会員 |
| 5～10月      | ○山菜展示コーナー・花実展示コーナーでの遊歩道整備<br>・現在ある歩道へ碎石を敷き、<br>流出を防ぐ為に両脇に丸太を置く。 | 和田公園内<br>(約90m) | 188  | 10  |
|            | ○活動時の簡易テント設置。<br>・1個は常設。<br>・2個は必要に応じてその都度設置。                   | 和田公園内           | 15   | 5   |
|            | ○河辺中学校 社会貢献活動                                                   | 和田公園内           |      | 70  |
| 参加人数合計(延べ) |                                                                 |                 | 203  | 85  |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

令和7年度（予定）は、おもな植物に写真と解説文をつけた40ページ前後の学習本を制作し、教育委員会を通して各学校に配布してもらいます。それを各学校が課外学習として、検討され利用いただければ、愛護会として里山村づくりの目的が達成されます。

和田公園を取り囲むように、7町内会の老人311名が移住しておりますが、昔より隣接する町内の交流事業がない地域ですので、完成後に町内より自発的有志が実行委員会を結成し孤独な老人たちに楽しみを与え、心の絆を深められるイベントを定期的に行います。その結果としてイベントが定着すれば、老人社会の明るいみちが必ず拓かれる。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

・ 応募回数：0回 （応募回数には今回の応募分は含めない）

・ 採択回数：0回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

・ 他の団体等と連携した活動である。

（連携する団体名： )

・ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例：チラシ〇〇枚作成し〇〇に配布、〇〇広報紙に掲載など）

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

自然を相手に取り組む地域づくり活動は、ボランティア会員が年々減少し続けております。現代社会の大多数の子供は、小学校に入学すると大学まで親の愛と庇護に守られて社会に巣立っていく。そして、結婚し家庭をつくると、よりよい生活環境を求めて新しい土地へ移住する。現在、愛護会ではボランティア会員募集について話し合うことがある。時に若者へ話すこともある。

しかし、彼等世代はふる里意識が希薄で、隣人への興味すらないのが実情であります。平成28年に和田公園の再生事業を始めて以来、河辺中学校とは毎年秋に一度、社会貢献活動（課外活動）として、公園でボランティア活動をしておりますが、今後の計画では新聞やマスコミなどに伝えることなどを工夫しながら完成を目指したいと思っております。

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                 | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                                                                        | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等) |                                                                                                                                      |            |                     |
| 2   | 賃 金             |                                                                                                                                      |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)    |                                                                                                                                      |            |                     |
| 4   | 消 耗 品 代         | ・ テント (26,800 円 × 3 個 = 80,400 円)<br>・ 杭 ( 848 円 × 45 本 = 38,160 円)<br>( 828 円 × 4 本 = 3,312 円)<br>・ 合 板 ( 1,780 円 × 6 枚 = 10,680 円) | 、 132,552  | 131,600             |
| 5   | 燃 料 代           |                                                                                                                                      |            |                     |
| 6   | 印刷製本代           |                                                                                                                                      |            |                     |
| 7   | 資 材 費           | ・ 碎石 (14,000 円 × 6 台 × 1.1 = 92,400 円)                                                                                               | 、 92,400   | 、 92,400            |
| 8   | 役 務 費           |                                                                                                                                      |            |                     |
| 9   | 使用料及<br>び賃借料    |                                                                                                                                      |            |                     |
| 10  | 委 託 費           |                                                                                                                                      |            |                     |
| 11  | 講 習<br>受 講 料    |                                                                                                                                      |            |                     |
| 12  | そ の 他           |                                                                                                                                      |            |                     |
| 合 計 |                 |                                                                                                                                      | 、 224,952  | 、 224,000           |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名       | 和田公園愛護会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 所 在 地       | 〒 019-2601<br>住所 秋田県秋田市河辺和田字和田55<br>電話 018-882-2480 FAX<br>Eメール                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 代 表 者 名     | 佐々木 恒徳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 連 絡 先       | 〒 019-2601<br>住所 秋田県秋田市河辺和田字和田55<br>電話 018-882-2480 FAX<br>Eメール                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 連 絡 者 名     | 佐々木 恒徳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 設 立 年 月 日   | 昭和42年9月12日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 会 員 数       | 25～35名（年によって増減はあるものの、必要な会員数は確保している）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 会員の平均年齢     | 歳<br>（若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 設 立 目 的     | 昭和42年、当時の青年有志が話し合い、子供が安心して遊べる場所と町民が憩える広場づくりをめざして、町内の中央に位置する太平山三吉神社のある裏山に和田公園をつくる。同年9月12日町内の賛同者を加えて、和田公園建設期成同盟会が結成され手造り公園の建設に37年間関わることになる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 主 な 活 動 実 績 | <p>■昭和44年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太平山三吉神社社地に遊具のある子供の広場をつくり、同年11月に公園開会式を行う。</li> </ul> <p>■昭和45年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供専用のプールをつくり当時の知事がプールの竣工式に出席する。</li> </ul> <p>■昭和47年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団法人日本花の会より桜花桃の木を寄贈され、秋田の水ゴケを送り届ける。</li> </ul> <p>■昭和50年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和田公園建設事業が「新しい町づくり運動」の県代表として全国大会に出場し「あすの地域社会を築く全国住民活動賞」を受賞する。</li> </ul> <p>■昭和52年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河辺町が「河辺中央児童館」を建設することになり、和田公園が土地を寄付する。</li> </ul> <p>■桜の花が咲くようになり「さくらまつり」のイベントを立ち上げ河辺町さくらまつりを定着させる。</p> <p>■和田公園建設30周年事業として記念碑を建てる。</p> <p>■平成17年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河辺町は秋田市と合併し、公園建設事業は37年間の活動を終える。</li> </ul> |

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   | <p>■平成27年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒れ果てた山のようにになっていたのを、秋田市との交渉の末ボランティアで公園を再生することになった。</li> <li>・28年より再生に着手、30年には7割方再生する。</li> </ul> <p>■令和元年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和田緑の里山づくり事業（令和元年～6年予定）を始める。<br/>（借地契約地での活動）</li> </ul> |
| 予算規模及び<br>主 な 財 源 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の予算規模 225,000 円</li> <li>・主な財源 県民参加の森づくり事業費補助金、有志による寄付金</li> </ul>                                                                                                                                                      |
| 備 考               |                                                                                                                                                                                                                                                                   |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|            |         |
|------------|---------|
| 秋田市立金足西小学校 | 所在する市町村 |
|            | 秋田市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

1・2年生 生活科 校外学習「ひみつの森へレッツゴー！」

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

この事業において、1・2年生の子どもたちが、校外学習において秋田県森林学習交流館プラザクリプトンを訪れ、野外活動を通して森林を観察し、木の葉や木の実を活用して木工クラフト体験活動を行うことで、自然と触れ合い、自然の不思議さや面白さに気付き、森林環境に主体的に関わっていこうとする素地を養うことができるようにする。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                                                          | 実施場所                | 参加者数 |     |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------|-----|
|            |                                                                                               |                     | 会員   | 非会員 |
| 9月下旬       | 1・2年生 生活科 校外学習<br>（森林学習交流館を訪れ、インストラクターの指導のもと、学習交流の森での森林学習やネイチャーゲーム、木の葉や木の実などを利用した木工クラフト体験を実施） | 森林学習交流館<br>及び学習交流の森 | 6    | 24  |
| 参加人数合計(延べ) |                                                                                               |                     | 6    | 24  |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

初年度は、年間1回の活動で1・2年生と職員を含め30名程度の参加を見込んでいるが、今後は、できるだけ他学年にも呼びかけ、より多くの子どもたちに森林環境学習を体験させたいと考えている。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・ 応募回数： 0回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・ 採択回数： 0回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

- ・ 他の団体等と連携した活動である。

(連携する団体名：)

- ・ 参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ〇〇枚作成し〇〇に配布、〇〇広報紙に掲載など)

- ・ 学級通信や学校報、ホームページに掲載し、保護者や地域住民に見ていただく。
- ・ 木工クラフト体験で作った作品を校内に展示し、他学年の子どもたちが鑑賞できるようにし、PTAの際に保護者が見ることができるようにする。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

小学校でも、ICTの利活用が積極的に図られ、各自がタブレット端末を活用して検索活動に取り組める環境にある。しかし、本事業では、子どもたちが森の中に足を踏み入れて自然を体感し、木の葉や木の実などの自然素材を実際に手に触れるという実体験ができる。子どもたちは、自然を直接肌で感じる体験を通し、将来的に森林環境に積極的に関わろうとする心情を養うことができるようになると捉えている。

9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                       | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入) | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------------|-----------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)       | 講師代 3,000 円×2 人=6,000 円                       | 6,000      | 6,000               |
| 2   | 賃 金                   |                                               |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)          |                                               |            |                     |
| 4   | 消 耗 品 代               | 児童クラフト代 600 円×24 人=14,400 円                   | 14,400     | 14,000              |
| 5   | 燃 料 代                 |                                               |            |                     |
| 6   | 印刷製本代                 |                                               |            |                     |
| 7   | 資 材 費                 |                                               |            |                     |
| 8   | 役 務 費                 |                                               |            |                     |
| 9   | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 | バス借り上げ料 @71,500 円×1 台=71,500 円                | 71,500     | 71,000              |
| 10  | 委 託 費                 |                                               |            |                     |
| 11  | 講 習<br>受 講 料          |                                               |            |                     |
| 12  | そ の 他                 |                                               |            |                     |
| 合 計 |                       |                                               | 91,900     | 91,000              |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                    |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 秋田市立金足西小学校                                                                                                         |
| 所 在 地                  | 〒 010-0115<br>住所 秋田市金足大清水字大清水台 1 番地<br>電話 018-873-3231 FAX 018-873-7360<br>E メール : kns-es4@edu.city.akita.akita.jp |
| 代 表 者 名                | 校長 上 野 智 明                                                                                                         |
| 連 絡 先                  | 〒 010-0115<br>住所 秋田市金足大清水字大清水台 1 番地<br>電話 018-873-3231 FAX 018-873-7360<br>E メール : kns-es4@edu.city.akita.akita.jp |
| 連 絡 者 名                | 1 年部 齊 藤 憲 子                                                                                                       |
| 設 立 年 月 日              | 明治 8 年 ( 1 8 7 5 年 ) 3 月 1 0 日                                                                                     |
| 会 員 数                  | 3 0 名(1・2 年生 24 名、引率職員 6 名)(全校児童 106 名、全職員 21 名)                                                                   |
| 会員の平均年齢                | 8 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                              |
| 設 立 目 的                | 小学校生活科の授業の一環として校外学習において森林環境を訪れ、自然観察活動や自然素材を活用した木工体験活動などに取り組むことで、森林環境に主体的に関わっていこうとする心情を養う。                          |
| 主 な 活 動 実 績            | ・ 1 年生はアサガオ、2 年生は野菜の栽培活動<br>・ 1・2 年生合同でサツマイモの苗植え付けと収穫の活動<br>・ 季節に応じて学校周辺の植物や昆虫などを観察し、触れ合う活動                        |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・ 団体の予算規模 円<br>・ 主な財源 秋田市一般会計教育費                                                                                   |
| 備 考                    |                                                                                                                    |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|            |         |
|------------|---------|
| 地縁法人 上虻川部落 | 所在する市町村 |
|            | 潟上市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                    |
|--------------------|
| 森づくり県民提案事業（クマ対策事業） |
|--------------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>クマの集落への出没が多く、クリや柿の被害があるので次の対策事業を行う</p> <p>1. 普及啓発活動 研修会開催と防災用サイレン、パンフレットの配布</p> <p>2. クマ対策活動 クリ・柿の伐採と集落周辺ヤブの刈り払い</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                 | 実施場所           | 参加者数 |     |
|------------|--------------------------------------|----------------|------|-----|
|            |                                      |                | 会員   | 非会員 |
| 4月上旬       | 伐採、やぶ払い作業開始<br>（施行は7月まで、クマの出没前に実施する） | 伐採対象地区         |      |     |
| 5月中旬       | 役員、町内会役員等の伐採等現地研修                    | 伐採対象地区         | 20   |     |
| 6月下旬       | 田植え終了後、会員の講習会実施                      | 上虻川集落農事<br>集会所 | 90   | 10  |
| 参加人数合計（延べ） |                                      |                | 110  | 10  |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

他の団体も同様な活動することにより、クマ対策に対する安全・安心な地域を豊川地区に広げ、森林組合を通して五城目井川地区に広げてゆきたい

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

・応募回数： 回 (応募回数には今回の応募分は含めない)

・採択回数： 回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

○ 他団体等と連携した活動である。

(連携する団体名： 豊川コミュニティー )

・参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

パンフレット 100 枚作成し、湯上市上虻川地区全戸に配布

講習会 1 回実施、開催案内チラシを全戸へ配布

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                 | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの算出根拠を記入)                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等) | 講習会 外部講師謝礼金 5,000 円×2 人=10,000 円<br>秋田森林学習交流館 インストラクター 菅原徳蔵 様<br>潟上市猟友会長 伊藤新一郎 様 計 2 名                                                                                                                                                                                                                                                                | 10,000     | 10,000              |
| 2   | 賃 金             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)    | 講習会 外部講師交通費 (菅原徳蔵 様)<br>秋田市～潟上市 私用車往復 37 円×40km=2,960 円                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 2,960      | 2,960               |
| 4   | 消耗品代            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                     |
| 5   | 燃 料 代           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                     |
| 6   | 印刷製本代           | パンフレットカラーコピー代、開催通知コピー代<br>150 円×上虻川世帯数約 100 世帯=15,000 円<br>内訳 (カラーコピー代 1 枚 50 円×3 枚=150 円)                                                                                                                                                                                                                                                            | 15,000     | 15,000              |
| 7   | 資 材 費           | ポケットラジオライト+単 4 電池 2,500 円/個<br>2,500 円×90 個=225,000 円<br>※別紙 製品保証書、取扱説明書添付                                                                                                                                                                                                                                                                            | 225,000    | 225,000             |
| 8   | 役 務 費           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                     |
| 9   | 使用料及<br>び賃借料    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                     |
| 10  | 委 託 費           | クリ等伐採箇所 A 0.28ha (39 本) 594,000 円<br>クリ等伐採箇所 B 0.08ha (15 本) 90,000 円<br>箇所 A+箇所 B = 0.36 ha (54 本) 684,000 円<br>補助金対象外施行地<br>クリ等伐採 (28 本) ×1 本 5,000 円=140,000 円<br>危険木 (4 本) ×20,000 円=80,000 円<br>刈払い箇所 A 0.20ha 84,040 円<br>刈払い箇所 B 0.40ha 168,000 円<br>刈払い箇所 A+刈払い箇所 B= 0.60ha 252,040 円<br>※秋田県緩衝体整備事業標準単価表参考 (刈払い)<br>総事業費計 A+B+伐採費用=472,040 円 | 1,156,040  | 684,000             |
| 11  | 講 習<br>受 講 料    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                     |
| 12  | そ の 他           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |                     |
| 合 計 |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 1,409,000  | 939,000             |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料 (見積書等) を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                           |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 地縁法人 上虻川部落                                                                |
| 所 在 地                  | 〒 018-1411<br>住所 潟上市昭和豊川上虻川字山王田5番地1<br><br>電話 018-877-2560 FAX 同左<br>Eメール |
| 代 表 者 名                | 総代 佐々木 松彦                                                                 |
| 連 絡 先                  | 〒 018-1411<br>住所 潟上市昭和豊川上虻川字仁山7番地<br><br>電話 018-877-2560 FAX 同左<br>Eメール   |
| 連 絡 者 名                | 佐々木 松彦                                                                    |
| 設 立 年 月 日              | 昭和40年11月1日                                                                |
| 会 員 数                  | 91名                                                                       |
| 会員の平均年齢                | 65歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                     |
| 設 立 目 的                | 地域内に発生する諸問題を円滑に処理するを目的とする                                                 |
| 主 な 活 動 実 績            | 1. 公民館の建設や農業施設の整備<br>2. 大雨災害の復旧要望<br>3. 神社の祭礼や維持管理                        |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 700,000円/年間<br>・主な財源 会員の賦課金と山林経営                                 |
| 備 考                    |                                                                           |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

### 1 提案者（団体名）

|       |         |
|-------|---------|
| (株)八柳 | 所在する市町村 |
|       | 仙北市     |

### 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

桜植樹活動

### 3 事業の目的（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

地域の休耕地や山林に山桜を植樹。山林や休耕地の有効活用。

- ① 西木地区上桧木内の田を地目変更した場所があり、その土地を借りて地元の方々と共に休耕地を有効活用する。昨年度 3 年目であり具体的には令和 5 年 11 月山桜を 100 本植樹（本補助金活用）。今年度も同数の植樹を検討している。5 年後 10 年後に桜が美しく咲き誇り桜の名所となることを期待している。国道 105 号や内陸縦貫鉄道添いにある場所。地元の方々もアカシヤやハナモモを植樹している。

上桧木内地区は超過疎地域であり、この土地で田畑を有効活用し賑わいを創出することは、極めて難しいことではありますが、地元の方々と共にチャレンジする。

- ② 農家民宿を運営している樺細工職人さんの山林に山桜を植樹。令和 5 年 11 月に 100 本植樹（本補助金活用）。今年度も同数の植樹を検討している。民宿に隣接した山林。樺細工製造を行う弊社が樺細工職人の山林に桜を植樹し、自然と桜を守るのは必然であり、それこそが事業を守ることにつながる。それと同時に、職人が運営している民宿のお客様に桜を鑑賞してもらい、自然と桜そして樺細工を楽しんでもらいたい。

#### ①②共通

原料である山桜の植樹は弊社の課題でもあります。しかし、原料の採取までは植樹してから約 30 年かかります。植樹した山桜が育ち使用可能かどうかもうやってみないとわからず、採算を考慮すると難しい事業でもあります。また、土地や権利や管理など問題だらけでもあります。昨年度、当事業を活用させていただき実施することができました。継続することが大切ですので今年度も事業を行いたいと考えております。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

#### 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                        | 実施場所             | 参加者数 |     |
|------------|-----------------------------|------------------|------|-----|
|            |                             |                  | 会員   | 非会員 |
| R6. 11     | 山桜の苗を 100 本植樹<br>20 アール程度予定 | 仙北市西木<br>上桧木内字左通 | 10   | 30  |
| R6. 11     | 山桜の苗を 100 本植樹<br>20 アール程度予定 | 仙北市角館町<br>西長野    | 10   | 10  |
| 参加人数合計(延べ) |                             |                  | 20   | 40  |

※活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

※事業内容を補足する資料があれば添付してください。

※参加者数は会員と非会員(一般参加者等の会員以外の参加者)を分けて記入してください。

#### 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

- ① 上桧木内には超過疎地域であり、現在でも耕作放棄地が沢山あります。今回の場所が桜やハナモモの鑑賞地となり、地元の方々が行なうはちみつの事業等が成功することで賑わいを創出できれば周りの場所の有効活用の可能性も広がり、地域の活性化につなげていけるかもしれません
- ② 他の職人さんの山林でも検討できればよいと考えております。持続可能な自然と事業にするために植樹を増やしていきたい
- ③ 我々が協力している支援学校の木工班の生徒達にも協力してもらい、輪を広げていきたい

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。

例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・ 応募回数： 1 回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・ 採択回数： 1 回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

#### 6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

- ☒ 他団体等と連携した活動である。  
(連携する団体名： 湖(みずうみ) 正会員 10 名 賛助会員 50 名 )
- ・ 参加者を一般公募している。

- 7 活動の広報・PR活動について**（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ〇〇枚作成し〇〇に配布、〇〇広報紙に掲載など）

自社のフェイスブックやInstagramなど SNS を活用した広報活動を予定

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

- 8 提案事業のアピールポイント**（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

- ・ 山林の有効活用と山桜の有効活用
- ・ 山桜は鑑賞用、また将来の材料となる
- ・ 山桜は皮の剥ぎ方次第で、殺さないで生かすことが可能。また、皮を剥いだ後チップ材などにも生かされる（いぶりガッコの燻製にも桜が使われている）。伐採後は自然に萌芽更新する
- ・ 原料採取は難題だが、持続可能な原料でもある

- 9 その他**

## 事業経費内訳書

| 項目  |               | 経費の内訳<br>(具体的な使いみちを明記し、<br>その単価や数量などの算出根拠を記入)       | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|---------------|-----------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報償費<br>(謝礼金等) |                                                     |            |                     |
| 2   | 賃金            |                                                     |            |                     |
| 3   | 旅費<br>(交通費)   |                                                     |            |                     |
| 4   | 消耗品代          |                                                     |            |                     |
| 5   | 燃料代           |                                                     |            |                     |
| 6   | 印刷製本代         |                                                     |            |                     |
| 7   | 資材費           | 山桜の苗 200本 @1,650                                    | 330,000    |                     |
| 8   | 食料費           |                                                     |            |                     |
| 9   | 役務費           |                                                     |            |                     |
| 10  | 使用料及び<br>賃借料  |                                                     |            |                     |
| 11  | 委託費           | 草刈り 外部へ<br>桧木内左通 年二回、6月、10月<br>延べ人数 10人 その他ガソリン、交通費 | 100,000    |                     |
| 12  | 講習<br>受講料     |                                                     |            |                     |
| 13  | その他           |                                                     |            |                     |
| 合 計 |               |                                                     | 430,000    | 400,000             |

※経費単価について根拠資料(見積書等)を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                |                                                                                                |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団体名            | 株式会社 八柳                                                                                        |
| 所在地            | 〒014-0347<br>住所 秋田県仙北市角館町小勝田松ヶ崎 29-20<br>電話 0187-55-4344 FAX 0187-55-4221<br>Eメール 8@hana.or.jp |
| 代表者名           | 代表取締役 八柳 浩太郎                                                                                   |
| 連絡先            | 同上                                                                                             |
| 連絡者名           | 八柳 浩太郎                                                                                         |
| 設立年月日          | H7 年 7 月 7 日                                                                                   |
| 会員数            | 13 名                                                                                           |
| 会員の<br>平均年齢    | 45 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                         |
| 設立目的           | 樺細工製造販売、介護事業                                                                                   |
| 主な活動実績         | 創業明治 9 年<br>樺細工製造の他大正昭和初期にかけては下駄の製造も行っていた<br>日本で唯一無二の樺細工を世界に向けて発信しております                        |
| 予算規模及び<br>主な財源 | ・団体の予算規模 円<br>・主な財源                                                                            |
| 備考             |                                                                                                |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|           |         |
|-----------|---------|
| 株式会社 門脇商店 | 所在する市町村 |
|           | 仙北市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|              |
|--------------|
| 森の恵みを次世代につなぐ |
|--------------|

## 3 事業の目的（どんな目的で活動するのかわかるだけ簡潔に記入してください）

|                                        |
|----------------------------------------|
| 参加した人たちが、森を身近に感じ、森を大切に思い、森を守る活動の担い手になる |
|----------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期         | 実施内容                                                                                                              | 実施場所              | 参加者数 |       |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------|-------|
|              |                                                                                                                   |                   | 会員   | 非会員   |
| 6～7月         | D I Y教室（大学生、社会人向け）<br>丸太からスウェーデントーチを作る<br>～ 大学生、社会人向けに、薪割り等の体験のあと、焚火を囲みながら秋田の森林の状況や林業（森を守る活動）という職業について紹介、意見交換をする。 | 仙北市田沢湖卒田字柴倉 378   | 2    | 5～10  |
| 9～10月<br>2日間 | D I Y教室（高校生以下）<br>木材を使った作品を作る<br>～ 地元の木工職人や大工を講師として、小学生以下の子供向け、中高生向けにモノづくりの機会を提供する。作るものは自由。                       | 仙北市田沢湖卒田字柴倉 378   | 4    | 10～20 |
| 10～11月       | 植樹（地元の小中学生）<br>～ 伝統工芸（樺細工）に役立つ山桜を100本植える。                                                                         | 仙北市田沢湖卒田字黒倉 255-1 | 2    | 20～25 |
| 参加人数合計(延べ)   |                                                                                                                   |                   | 8    | 35～55 |

※活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

※事業内容を補足する資料があれば添付してください。

※参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

D I Yイベントはこれまで年1, 2回の不定期開催だった。令和7年度からは、定期開催にしていきたい。地元の素材生産業者や製材所から、丸太や製材の端材を燃料よりも高い値段で仕入れ、その連携をSNS等で発信し、林業・木材産業の活性化につなげたい。将来的には、事業内容を植える⇒手入れする(下刈りや間伐)⇒収穫するという全工程に広げることと山林所有者向けの山づくりや所有権に関する勉強会も実施したい。

この活動を通じて、参加者のニーズを把握し、そのニーズに応えながら柔軟に活動内容を検討していきたい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。

例)植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・応募回数: 0 回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・採択回数: 0 回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

## 6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

- ・他の団体等と連携した活動である。

(連携する団体名: )

- ☒参加者を一般公募している。

## 7 活動の広報・PR活動について(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例:チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

- ・自社のホームページ、Facebook、Instagram、Peatix等を活用する
- ・地域の小学校にチラシを配る(仙北市内6校、約1000枚)
- ・できるだけ若者に参加してもらい、その若者たちにSNSで拡散してもらうよう促していく

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

## 8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

- ・モノづくり体験を通じて子供の創造性、積極性を育む
- ・子供と大人(講師・補助員等)の交流を通じて双方のコミュニケーション力を育む
- ・間伐材や製材所から出る端材等を活用する
- ・将来的には地場の伝統工芸品である樺細工の原料となる桜の皮を供給できる
- ・一般公募により広く関心のある人たちを集めることでリピーターになってもらう

## 9 その他

## 事業経費内訳書

| 項目  |               | 経費の内訳<br>(具体的な使いみちを明記し、<br>その単価や数量などの算出根拠を記入)                                                                                                                                                                                                                    | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報償費<br>(謝礼金等) | D I Y : 講師 (10,000 円×1 名×2 日)<br>※子供向けのみ講師を依頼する                                                                                                                                                                                                                  | 20,000     |                     |
| 2   | 賃金            | D I Y : 当日の子供達のお世話 (5,000 円×2 名×2 日)<br>植樹 : 植栽前後の草刈り (20,000 円×3 回)                                                                                                                                                                                             | 80,000     |                     |
| 3   | 旅費<br>(交通費)   |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                     |
| 4   | 消耗品代          | D I Y :<br>金槌 (1,490 円×5 個)<br>丸くぎ (429 円×1 個)<br>木工用ボンド (579 円×1 個)<br>紙やすり (4,590 円×2 個)<br>ブッシュドリル (4,400 円×5 個)<br>植樹 :<br>鋤 (5,990 円×5 本)<br>シャベル (3,890 円×5 本)<br>移植ゴテ (859 円×5 本)<br>D I Y・植樹 :<br>A4 印刷用紙 (チラシ用、500 枚) (785 円×3 個)<br>インク代 (1,784 円×2 個) | 100,000    |                     |
| 5   | 燃料代           |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                     |
| 6   | 印刷製本代         |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                     |
| 7   | 資材費           | 植樹 : 苗木 (1,500 円×100 本)                                                                                                                                                                                                                                          | 150,000    |                     |
| 8   | 食料費           | D I Y・植樹 : 飲み物 (150 円×50 本)                                                                                                                                                                                                                                      | 8,000      |                     |
| 9   | 役務費           | D I Y・植樹 : 傷害保険料 (1 回 2,000 円×4 日分)                                                                                                                                                                                                                              | 8,000      |                     |
| 10  | 使用料及び<br>賃借料  |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                     |
| 11  | 委託費           |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                     |
| 12  | 講習<br>受講料     |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                     |
| 13  | その他           |                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |                     |
| 合 計 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                  | 366,000    | 366,000             |

※経費単価について根拠資料(見積書等)を必ず添付すること。

応募団体概要書

|                |                                                                                                                          |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団体名            | 株式会社門脇商店                                                                                                                 |
| 所在地            | 〒014-1113<br>住所 仙北市田沢湖卒田字柴倉 1 2 7 番地<br>電話 080-9257-7221 FAX なし<br>E メール info@kadowakishouten.com                        |
| 代表者名           | 代表取締役 庄子奈穂子                                                                                                              |
| 連絡先            | 〒014-1113<br>住所 仙北市田沢湖卒田字柴倉 1 2 7 番地<br>電話 080-9257-7221 FAX なし<br>E メール naoko.shoji@kadowakishouten.com                 |
| 連絡者名           | 庄子奈穂子                                                                                                                    |
| 設立年月日          | 令和 3 年 1 0 月 8 日                                                                                                         |
| 会員数            | 2 名                                                                                                                      |
| 会員の<br>平均年齢    | 60 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                   |
| 設立目的           | 山林経営、木製品販売                                                                                                               |
| 主な活動実績         | 令和 4 年<br>6 月 薪割り体験会 (参加者 15 名)<br>8 月 子供向け木工教室 (参加者 20 名)<br>令和 5 年<br>8 月 子供向け木工教室 (参加者 15 名)<br>12 月 木工体験広場 (参加者 5 名) |
| 予算規模及び<br>主な財源 | ・団体の予算規模 50 万円<br>・主な財源 自己資金                                                                                             |
| 備考             |                                                                                                                          |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

実施計画書

1 提案者（団体名）

|          |         |
|----------|---------|
| りんご三山友の会 | 所在する市町村 |
|          | 横手市     |

2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                                            |
|--------------------------------------------|
| 「自然と歴史を学びながら清掃ハイキング」ふるさとの森を知り森を守るための環境整備事業 |
|--------------------------------------------|

3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>対象とする平鹿地域の里山には、日本海側特有のブナの純林とユキツバキの群落が共生しており、これは現代において裏日本ならではの希少な自然の景観となっている。</p> <p>またこの一帯は古くは縄文時代からの歴史の片鱗が随所に残っているものの、地元にもあまり認知されていない。</p> <p>人々が訪れる機会を増やすことが、こうした豊かな自然景観と歴史の記憶を後世へ守り伝える第一歩と考える。</p> <p>そのためにも、人々が気軽にリフレッシュの場として訪れることができるよう環境と歩道の整備を行うことを本事業の目的とする。</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

4 事業の内容

| 実施時期                 | 実施内容                                                               | 実施場所                                    | 参加者数 |      |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------|------|
|                      |                                                                    |                                         | 会員   | 非会員  |
| 令和 6 年 4 月中旬頃        | 参加要請団体や個人、関係者等に対して実施内容説明会                                          | 横手市内公民館                                 | 4 人  | 10 人 |
| 令和 6 年 5 月下旬から 6 月上旬 | 歩道周辺の環境整備（ゴミ拾い、枝・下草払い・外来植物駆除）をしながら春の自然観察ウォーキング／昼食時に里山遊びワークショップを開催。 | 金峰山の山麓（明沢ダムから金峰山登山口～男亀森登山口までの歩道及び山中の旧道） | 10 人 | 50 人 |
| 令和 6 年 9 月中旬頃        | 参加要請団体や個人、関係者等に対して実施内容説明会                                          | 横手市内公民館                                 | 4 人  | 10 人 |

|                         |                                                                            |                                                         |     |      |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----|------|
| 令和6年10<br>月中旬~11<br>月上旬 | 歩道周辺の環境整備（ゴミ拾い、枝・下草払い・<br>外来植物駆除）をしながら秋の自然観察ウォーキ<br>ング／昼食時に里山遊びワークショップを開催。 | 金峰山の山麓（明<br>沢ダムから金峰山<br>登山口～男亀森登<br>山口までの歩道及<br>び山中の旧道） | 10人 | 50人  |
| 参加人数合計(延べ)              |                                                                            |                                                         | 28人 | 120人 |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

- ・事業内容を補足する資料があれば添付してください。
- ・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

散策やウォーキング、サイクリングの場として整備と宣伝を行い、多くの人に訪れてもらえる場に育てる。

そのために、①整備事業の一般参加者から会員を募集し、会員人数を増やし定期的な整備活動を行うためのマンパワーのベースを確保する。

②活動の意義を実感してもらい、活動へのモチベーションを醸成するため定期的な勉強会を行う。内容は山域の植物観察、講師を招いての歴史勉強会など。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

- ・ 応募回数： 回 （応募回数には今回の応募分は含めない）
- ・ 採択回数： 回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

- ・ 他の団体等と連携した活動である。

（連携する団体名：

）

○参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など）

- 1、Instagram、facebook による定期的な情報発信。
- 2、イベント募集の際にはチラシを1000枚印刷し、地元道の駅、ゆっぶるなどの温泉施設、横手地区を中心とした公共施設、学校、地元婦人会、社会人山岳会などへ設置及び配布する。
- 3、活動内容や山域の情報を記載した会員募集リーフレット（A3二つ折り）を1000枚制作し、イベントの際に配布したり各施設に設置する。
- 4、横手市広報誌、新聞各社へ掲載要請
- 5、魁新聞へ取材要請

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

①活動エリアには昭和初期までに使われていた古道があり、現在は知る人ぞ知る自然散策として親しまれている。散策路として車が往来することもある現在の道周辺だけではなく、こうし

た古道を含めた散策路周辺を整備することでより安全で楽しい森歩きの機会を人々に提供できる。

② 会員には日本山岳ガイド協会認定の登山ガイドが複数人いるため、参加者に対し森林散策の楽しみ方を伝えながら、環境整備イベントを実施することができる。例としては植物観察のほか、刈り払い整備で発生するクロモジの枝を使ったハーブティーの作り方、山菜やきのこの見分け方と食べ方、など。こうしたプラスアルファを用意することで、またこのエリアを訪れたい、次も参加したいと思ってもらえる。

③ 麓には温泉施設や果樹園、増田の町、真人公園など参加者が立ち寄るスポットもあり地元活性化にも繋がる。

④エリア周辺には古くは縄文遺跡、後三年の合戦に関連する神社、鉾山跡、鉾山縦坑跡、戊辰戦争の逸話など、地元でも知られていない歴史が随所に残る。環境整備をするとともに、こうしたポイントについて知ることによって地元への愛着を深める機会の提供にも繋がる。

## 9 その他

様式第3号（第6関係）

### 事業経費内訳書

| 項 目 |                 | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                                                                                                           | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等) |                                                                                                                                                                         |            |                     |
| 2   | 賃 金             |                                                                                                                                                                         |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)    | 近隣地域での整備活動の実際を研修<br>イベントのスムーズな運営のため、五城目町などの<br>整備活動に会員1～2名が研修のため参加する。<br>ガソリン代及び高速道路代<br>往復約180km／燃費15km＝12リットル×171.42<br>円＝2,057円<br>横手インター～五城目八郎潟インター（往復2,790<br>円×2） | 7,637円     | 7,637円              |
| 4   | 消 耗 品 代         | コピー用紙 698円／封筒 666円                                                                                                                                                      | 1,364円     | 1,364円              |

|    |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                 |                                 |
|----|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 5  | 燃料代                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈機燃料代 2 台×作業時間 3 時間×2<br/>混合油 1 リットルあたり 2 時間稼動<br/>＝軽油 1 リットルあたり 2 時間＝2.5 リットル<br/>×2 台×2 日＝10 リットル<br/>2 リットル入り缶 1,508 円×5 缶＝7,540 円</li> <li>・イベント時ゴミ等運搬車両の燃料<br/>30km/燃費 15km＝2 リットル×1 台×2 日間分<br/>ガソリン代 171.42 円</li> </ul>                               | 7,540 円<br><br>685 円            | 7,540 円<br><br>685 円            |
| 6  | 印刷製本代                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動紹介リーフレット<br/>A3 二つ折り 4P 1000 部<br/>両面カラー印刷代 10,087 円(ラクスル)<br/>入稿デザイン料 (アニバトゥルー) 50,000 円</li> <li>・募集チラシ A4<br/>表カラー裏モノクロ 1000 枚×2 回分<br/>印刷代 2 回分 8,613 円 (ラクスル)<br/><br/>デザイン料 (アニバトゥルー) 16,000×2 回分</li> </ul>                                           | 60,087 円<br><br>40,613 円        | 60,087 円<br><br>40,613 円        |
| 7  | 資 材 費                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業者軍手やゴム手袋の予備 (原則各自持ち寄り)<br/>子供用軍手 12 セット 1,309 円×2 回＝2,618 円<br/>大人用軍手 12 セット 793 円×2 回＝1,586 円<br/>ゴミ袋 70 リットル (30 枚入り) 580 円×4 回＝<br/>2,320 円<br/>虫除け虫刺され 572 円×5 回＝2,860 円<br/>ファストエイド品 499 円</li> <li>・飲料 イベント時の水分補給 (一箱 24 本)<br/>2,090 円×6 回</li> </ul> | 9,883 円<br><br>12,540 円         | 9,883 円<br><br>12,540 円         |
| 8  | 役 務 費                 | 参加者保険料 レクリエーション保険円 3,986 円×2                                                                                                                                                                                                                                                                           | 7,972 円                         | 7,011 円                         |
| 9  | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議会場 横手市内 公民館など 2 時間×400×6</li> <li>・車両レンタル 軽トラ 1 台×2 日 (6 時間 6270 円)</li> <li>・車両レンタル マイクロバス 1 台×2 日<br/>33,000 円×2 日</li> </ul>                                                                                                                              | 4,800 円<br>12,540 円<br>66,000 円 | 4,800 円<br>12,540 円<br>66,000 円 |
| 10 | 委 託 費                 | イベント運営 (株) アニバトゥルー<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・活動記録・活動情報発信の受託 (会議での記録、<br/>既存 SNS での発信) 10 回：・参加者募集説明会運営</li> </ul>                                                                                                                                                                     | 25,000 円                        |                                 |

|    |              |                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                 |           |
|----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------|
|    |              | の受託（５月、１０月開催）説明者交通費、会場借上費、<br>参加者名簿・資料作成、印刷<br>・イベント開催日の運営受託 5000 円×２回<br>スタッフ（受付・昼食の管理）5000 円×４人×２回<br>（時間：７時 30 分～12 時 30 分 ４時間×４人(班ごと)）<br>講師謝金（植物講座） 10 分×4 班 3000 円×２回<br>・看護師 18,000 円×２回<br>・消耗品ネームホルダー、スタンプカード 100 個<br>・諸経費 15%（142,000*15%=21,300 円） | 10,000 円<br>10,000 円<br>40,000 円<br>6,000 円<br>36,000 円<br>15,000 円<br>21,300 円 | 163,300 円 |
| 11 | 講 習<br>受 講 料 |                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                 |           |
| 12 | そ の 他        |                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                 |           |
|    | 合 計          |                                                                                                                                                                                                                                                                | 394,961 円                                                                       | 394,000 円 |

注）・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                                                                     |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | りんご三山友の会                                                                                                                                                                            |
| 所 在 地                  | 〒013-0102<br>住所 秋田県横手市平鹿町醍醐字樋の口村下56-4<br><br>電話 090-5598-4968 FAX<br>Eメール barry@kiu.biglobe.ne.jp                                                                                   |
| 代 表 者 名                | 鶴岡由紀子                                                                                                                                                                               |
| 連 絡 先                  | 〒013-0102<br>住所 秋田県横手市平鹿町醍醐字樋の口村下56-4<br><br>電話 090-5598-4968 FAX<br>Eメール barry@kiu.biglobe.ne.jp                                                                                   |
| 連 絡 者 名                | 鶴岡由紀子                                                                                                                                                                               |
| 設 立 年 月 日              | 令和4年 9月 1日                                                                                                                                                                          |
| 会 員 数                  | 14 名                                                                                                                                                                                |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                                                                 |
| 設 立 目 的                | 横手市の平鹿と増田にまたがる里山三座を地元の名産品にちなみ「りんご三山」と命名し、このエリアを中心とした里山の植生の保全と地域の歴史の記憶の継承を目的として設立。                                                                                                   |
| 主 な 活 動 実 績            | 令和4年10月 りんご三山散策コースの草刈り、枝払い作業（会員）<br>令和4年11月 りんご三山秋のハイキングツアー2デイズ開催（一般募集）<br>令和5年2月 りんご三山スノーハイクツアー2デイズ開催（一般募集）<br>令和5年5月 りんご三山散策コースの草刈り、枝払い作業（会員）<br>令和5年10月 りんご三山散策コースの草刈り、枝払い作業（会員） |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 700,000 円<br>・主な財源 助成金及び会員からの会費および参加者からの参加料                                                                                                                                |
| 備 考                    |                                                                                                                                                                                     |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|                |         |
|----------------|---------|
| ダウン症サークル いっぱ21 | 所在する市町村 |
| 代表 嵯峨陽子        | 横手市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                        |
|------------------------|
| 知ろう♪作ろう♪遊ぼう♪ ☆もくいくひろば☆ |
|------------------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>この事業において、横手市近隣の子どもや子育て親子を対象に、木のおもちゃ広場や木育体験ブースを開設する。子どもの頃から木を身近に感じ、心の育ちや環境の大切さを総合的に考える活動を目指す。なお、木にはストレス解消や免疫力アップ、木工体験では集中力がつくなどの効用もある。また、市内の森林はほとんど民有林（雑木林）で市民の関心が低く、市内外の木育に取り組む団体を招き、イベントを通じて横手市内の森林資源の有用性を伝えたいと考えている。併せて、障害の有無にかかわらず、誰もが木の魅力を感じることを出来るイベントとしたい。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                                                                                      | 実施場所 | 参加者数（名） |     |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|-----|
|            |                                                                                                                           |      | 会員      | 非会員 |
| 6月頃        | <p>木育広場（木のおもちゃや遊具で遊ぶ）</p> <p>木育ワークショップ</p> <p>（主に子どもを対象に、木で小さな作品づくりを通して、木の価値を知り楽しさを共有する）</p> <p>※具体的イベント内容については別紙1に記載</p> | 横手市内 | 50      | 250 |
| 参加人数合計（延べ） |                                                                                                                           |      | 50      | 250 |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか

今年度は初開催の為、木育体験を主体にして来場の子供達に対して木に興味を持ってもらう。その中で自分達が住んでいる地域の森にはどんな木があるのか？木でどんなことが出来るのか？をパネル展示やワークショップで体験してもらう。  
ワークショップでは木を使ったキーホルダーの他に、地元十文字にて作られている「十文字和紙」も取り入れ、地域に根付いた文化も大切にしていきたいと考えている。  
また、今回は障がいのある子供達にも木育体験を通して心の安定や楽しみを感じていただく。将来的には誰でも楽しめるインクルーシブ木育広場として県内初のイベントにしていきたい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。 例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について（回数を記入してください）

- ・ 応募回数： 0回 （応募回数には今回の応募分は含めない）
- ・ 採択回数： 0回 （採択回数には今回の応募分は含めない）

## 6 参加者の構成等（当てはまるもの全てに○を付けてください）

- ・ 他の団体等と連携した活動である。

（連携する団体名：能代市木の学校、アミュージングサポートあそぶ、わっ店、(株)ウッディさんない） ※連携内容は別紙1 参照

- ・ （調整中の連携団体：横手市、平鹿地域振興局、秋田県立大学木材高度加工研究所、能代木材産業連合会、FMあきた）
- ・ 参加者を一般公募している。

## 7 活動の広報・PR活動について

（活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ〇〇枚作成し〇〇に配布、〇〇広報紙に掲載など）

イベントチラシの作成：市内の保育園や小学校だけでなく、連携団体を通して県内会員等に配布。  
SNSによる情報拡散：連携団体及び参加者を通して、HPやFB等による情報発信。  
新聞や広報誌への掲載：各種メディアへの記事掲載依頼

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

## 8 提案事業のアピールポイント（事業の独自性など箇条書きで記入してください）

今回の木育広場は市内では初開催となる、障がいの有無に関わらず楽しく木育体験が出来、SDGs③、④、⑪、⑮にも該当するイベントとなっている。 ※SDGs番号一覧は別紙2 参照  
障がいの無い子供達が楽しめるのはもちろんだが、障がいのある子供達にとって社会参加できる貴重な機会となる。横手近隣地区の子供達に木のぬくもりを感じてもらい、横手の森林・木材産業についてパネル展示も行うなど、親しみを持ってもらえる活動としたい。

## 9 その他

※参考資料過去イベント他団体と連携について別紙3 参照

ダウン症サークルいっぽ 21 HPアドレス <https://ippo21.crayonsite.info>

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                 | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                                                                                                                                                                  | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等) | 木育広場、木育WS、見守り等（保育・看護）<br>(4人+10人+2人) × 5,000 円 = 80,000 円、                                                                                                                                                                     | 80,000     | 80,000              |
| 2   | 賃 金             |                                                                                                                                                                                                                                |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)    | 木育広場・WS 講師宿泊 4人 × 7,876 円 = 31,504 円<br>車賃 @37 円 × 180 + 132 + 132) 和 × 往復 = 32,856 円<br>(180 和 大館 + 十文字、132 和 八竜 + 十文字)<br>※宿泊費については別紙 4 参照                                                                                   | 64,360     | 62,000              |
| 4   | 消 耗 品 代         | クレヨン、消毒、マスク、模造紙等 18,000 円                                                                                                                                                                                                      | 18,000     | 17,000              |
| 5   | 燃 料 代           |                                                                                                                                                                                                                                |            |                     |
| 6   | 印刷製本代           | チラシ等 4000 枚 (両面)                                                                                                                                                                                                               | 48,000     | 48,000              |
| 7   | 資 材 費           | 動物ガチャ 90 個 × 300 円 = 27,000 円<br>ランタンキット 70 個 × 500 円 = 35,000 円<br>サンキャッチャー 20 個 × 600 円 = 12,000 円<br>スマイルボックス 20 個 × 1,000 円 = 20,000 円<br>組子キット 20 個 × 1,500 円 = 30,000 円<br>埋もれ木ペンダント 20 個 → 0 円<br>※埋もれ木ペンダントは参加者多数の際の予備 | 124,000    | 120,000             |
| 8   | 役 務 費           | ボランティア行事用保険 4,480 円 × 2 日 = 8,960 円<br>内訳 (@28 円 × 320 名) (内 20 名はボランティアに<br>かける) ※別紙 5 参照                                                                                                                                     | 8,960      | 8,000               |
| 9   | 使用料及び<br>賃 借 料  | 高速料金 3,730 円 × 3 台 × 往復 = 22,380 円<br>※高速料は別紙 6 参照<br>木のおもちゃ借り上げ 20,000 円 × 2 日 = 40,000 円<br>遊具一式レンタル 10,000 円<br>会場使用料 11,550 円 + 7,350 円 = 18,900 円<br>※会場使用料は別紙 7 参照                                                       | 91,280     | 65,000              |

|     |       |  |         |         |
|-----|-------|--|---------|---------|
| 10  | 委 託 費 |  |         |         |
| 11  | そ の 他 |  |         |         |
| 合 計 |       |  | 434,600 | 400,000 |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | ダウン症サークル いっぽ21                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 所 在 地                  | 〒019-0509 住所 横手市十文字町梨木字村北32番地2<br>電話 090-6224-8705 FAX 無し<br>Eメール yoko121006130331@gmail.com                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 代 表 者 名                | 代表 嵯峨 陽子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 連 絡 先                  | 団体所在地と同じ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 連 絡 者 名                | 代表 嵯峨 陽子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 設 立 年 月 日              | 2015 年 6月13日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 会 員 数                  | 125 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 会員の平均年齢                | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 設 立 目 的                | 秋田県内を対象にダウン症がある方、その兄弟児、ご家族が孤独を感じる事なく色々な経験を通して人生を豊かにしていくこと                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 主 な 活 動 実 績            | <p>県北、中央、県南各地区での交流会、ベビー会お茶会の開催（中央地区）</p> <p>R5年度活動実績は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招いて音楽療法やキッズズンバ開催（県南地区等）</li> <li>・秋田市ダンススタジオCHEE:SE、シンガーソングライター柴田トオル氏と共にGIANZを結成。秋田ノーザンハピネッツハーフタイムステージ、インクルーシブフットボールINあきた、3×3 BASKETBALL、由利本荘市あらまつりにてパフォーマンス（中央地区、本荘地区）</li> <li>・秋田公立美術大学生、NPO法人うちのあかりと合同でダイナミックアート体験開催（中央地区）</li> <li>・秋田県サッカー協会キッズ委員会主催サッカー教室開催（県南、中央地区）</li> <li>・外部講師を招いて足育講座開催（中央地区）</li> <li>・横手市主催ちびっこわくわくフェスティバルにてブース開設県南地区）</li> <li>・ニッセイ財団「児童・少年育成健全育成助成」贈呈式参加（中央地区）</li> <li>・秋田市豪雨災害にて秋田市社会福祉協議会へ支援物資提供（中央地区）</li> <li>・横手市福祉事務所や秋田県議員との意見交換会参加（県南地区）</li> <li>・外部講師を招いてミュージックケア開催（県北地区）</li> <li>・秋田中央スポーツセンターにて秋田シェフズメイクリフィックス、ひなたフォト、ユアナス、PILZ、就労支援事業所B型めだかPLUSと共に感謝祭開催（中央地区） ※活動内容については別紙8 参照</li> </ul> <p>ダウン症サークルいっぽ21 Instagramアカウント ippo_21</p> |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | 年会費等はなし。イベント毎にかかった費用を参加人数で負担。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 備 考                    | いっぽ21について（規約）添付                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|           |         |
|-----------|---------|
| 飯沢地区連絡協議会 | 所在する市町村 |
|           | 羽後町     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

豊かな森づくりが如何に大切かを学び、体験作業を実施し実感をしてもらう。

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

西馬音内川の水源地である場所に住み、地域にとって森林の大切さを知る一環として  
地域住民有志や小学校児童の参加で、一昨年植樹地の苗の成長を確認する。  
苗木の下草の除草作業の体験や講演を視聴して、森林の豊かさを実感してもらい  
森林の役割や大切さを後世に繋げて行く。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 6月8日          | 豊かな【水と緑】をみんなで守り育てよう<br>あきた県庁出前講座<br>木育教室（スライド式本棚製作）<br>植樹地での除草作業体験 | 沢の子の杜わか杉<br>"<br>"<br>飯沢字桜峠地内 | 参加者数 |     |
|---------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------|-----|
|               |                                                                    |                               | 22名  | 10名 |
|               |                                                                    |                               |      |     |
| 参加人数合計（延べ）32名 |                                                                    |                               |      |     |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

少子高齢化が益々進み、次世代への地域の豊かな森林環境を守るべく、地域住民は元より小学児童参加を募り、活動の重要性を理解してもらう。森づくりの活動を継続して実施し参加人数を増やしながら、地域活性化を図りたい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・ 応募回数： 2回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・ 採択回数： 2回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

## 6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

- ・ 他の団体等と連携した活動である。

(連携する団体名：

)

- ・ 参加者を一般公募している。

## 7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

小学児童用(4年生～6年生)120枚・地域住民用(130枚)のチラシを作成し、参加を公募する。

チラシは合計250枚で、児童へはPTAへ、地域住民へは町広報配布時織り込む。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

## 8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

地域豊かな森をいつまでも守り続け、活動を通じて次世代に繋げたい。

## 9 その他

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                       | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                          | 事業費<br>(円)                       | 希望する<br>補助金額<br>(円)              |
|-----|-----------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)       | 草刈り安全作業指導員 6人                                                          | 34,650 円                         | 34,650 円                         |
| 2   | 賃 金                   |                                                                        |                                  |                                  |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)          |                                                                        |                                  |                                  |
| 4   | 消 耗 品 代               | JA うご農業協同組合<br>虫よけスプレー、ブルーシート、紙やすり<br>軍手、金づち、小鎌                        | 38,775 円                         | 38,770 円                         |
| 5   | 燃 料 代                 |                                                                        |                                  |                                  |
| 6   | 印刷製本代                 | 用紙及びカラーコピー代金 250枚<br>西馬音内小学校（4年～6年）120枚                                | 3,750 円                          | 3,750 円                          |
| 7   | 資 材 費                 | 木育体験 スライド式本棚（木工舎 つきのわ）<br>合同会社 フォレストファーム 忌避剤 5kg<br>スライド式本棚塗装用ニス、刷毛、容器 | 69,300 円<br>32,670 円<br>40,000 円 | 69,300 円<br>32,670 円<br>40,000 円 |
| 8   | 役 務 費                 | JA うご農業協同組合 イベント障害共済保険                                                 | 1,260 円                          | 1,260 円                          |
| 9   | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 | (有) 藤観光 中型バス 40人乗り                                                     | 61,600 円                         | 61,600 円                         |
| 10  | 委 託 費                 | 合同会社 フォレストファーム<br>忌避剤散布・作業場所道路草刈り等                                     | 110,000 円                        | 110,000 円                        |
| 11  | 講 習<br>受 講 料          | 豊かな【水と緑】をみんなで守り育てよう<br>令和6年度あきた県庁出前講座 森林環境保全課                          | 0 円                              | 0 円                              |
| 12  | そ の 他                 |                                                                        |                                  |                                  |
| 合 計 |                       |                                                                        | 392,005 円                        | 392,000 円                        |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|               |                                                                                      |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名         | 飯沢地区連絡協議会                                                                            |
| 所 在 地         | 〒012-1136<br>住所 秋田県雄勝郡羽後町飯沢字上野30番地<br>電話 0183-68-2768 FAX 0183-68-2768<br>Eメール       |
| 代 表 者 名       | 北島 秋榮                                                                                |
| 連 絡 先         | 〒 012-1136<br>住所 秋田県雄勝郡羽後町飯沢字上野30番地<br>電話 0183-68-2768 FAX 0183-68-2768<br>Eメール      |
| 連 絡 者 名       | 北島 秋榮                                                                                |
| 設 立 年 月 日     | 昭和61年 8月 1日                                                                          |
| 会 員 数         | 125世帯 令和5年12月末現在 318名                                                                |
| 会員の平均年齢       | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                  |
| 設 立 目 的       | 地域活性化を目指し、行政と地域とのパイプ役とする。                                                            |
| 主 な 活 動 実 績   | 地域イベント：飯沢魚つかみどり大会、飯沢地区住民体育大会<br>へ主催・協賛<br>西馬音内川河川一斉草刈り（年1回）、町道一斉草刈り（春、夏）<br>ボランティア活動 |
| 予算規模及び主 な 財 源 | ・団体の予算規模 150,000 円<br>・主な財源 地域各戸 年会費 1,000 円及び町補助金 24,000 円                          |
| 備 考           |                                                                                      |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 秋田県立秋田北鷹高等学校 緑地環境科 | 所在する市町村 |
|                    | 北秋田市    |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                       |
|-----------------------|
| 森林整備ボランティア事業「森林バスターズ」 |
|-----------------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個人所有山林の森林整備ボランティア事業。北秋田市内（旧鷹巣町内）で、何らかの理由により山林整備ができなくなった所有者の承諾を得て、将来、林業事業体就業を志す3年生の有志が、間伐をはじめとする森林保育作業全般を実施する。また、スギ間伐材を活用した記念品を、市内の木材産業関連団体「秋田スギネットワーク」と連携して製作し、令和3年度から、北秋田市内の小学校に入学する新入学児童に対し、「木育活動」の一環としてプレゼントする目的で活動を行っている。 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期                  | 実施内容                      | 実施場所  | 参加者数     |     |
|-----------------------|---------------------------|-------|----------|-----|
|                       |                           |       | 会員       | 非会員 |
| 4月下旬                  | 整備希望山林の現況調査               | 北秋田市内 | 7        | 0   |
| 5月上旬                  | 林業機械安全管理講習会を実施            | 北秋田市内 | 7        | 8   |
| 5月中旬                  | 山林整備開始（年間25回から30回の現場作業    | 北秋田市内 | 196      |     |
| 以降、降雪により作業が不可能になるまで実施 | を目標とし、延べ面積3ha以上の山林整備を目指す） |       | (7名×28回) |     |
| 参加人数合計(延べ)            |                           |       | 210      | 8   |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

山林所有者の了解を得て、間伐材の搬出も行う。北秋田市民有林からの依頼も受けている。そこで間伐した木材は、本校が所有する製材機械により製材加工し、令和3年度から北秋田市内の小学校に入学する新入学児童に対し、「木育活動」の一貫として記念品を製作し贈呈する事業を、北秋田市並びに、木材産業関連団体「秋田スギネットワーク」との共同事業で実施し、今後も継続する予定にしている。産・官・学が連携した事業の一環として、林業の後継者育成と木育事業を並行して、今後も実施する予定である。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

これまで14年間活動を展開し、昨年度、初年度募集した35件の整備事業を終了することができた。現在は、北秋田市との連携で、林業後継者の育成と、小学校児童に対する木育活動に発展させ展開している。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

・応募回数：13回 (応募回数には今回の応募分は含めない)

・採択回数：13回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

## 6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

☒ 他団体等と連携した活動である。

(連携する団体名：北秋田市並びに秋田スギネットワーク)

・参加者を一般公募している。

## 7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例：チラシ〇〇枚作成し〇〇に配布、〇〇広報紙に掲載など)

活動の広報やPR等は作業の状況に応じ、積極的に行っている。過去の例としては、全国紙の新聞報道や、各種メディアでも取り上げられた。昨年度は、東京都の出版社からの取材を受け、東京都で配付されている機関誌(DePOLA56号)で紹介された。複数の民放テレビ局からの取材依頼もあった。例年、地元紙での報道は複数存在する。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

## 8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

この活動を通じ、年間複数名の林業後継者を輩出している。定着率も良く、現在も多くの卒業生が地域林業の後継者として活躍している。本事業に申請はしていなかったものの、今年度は、秋田県庁職員に2名、秋田林業大学校に1名、地域内外の林業事業体に2名、木材加工関連企業に3名の卒業生を輩出している。県内でも数少なくなった、若手の林業就業者の学習の場や、体験の場としても、貴重な活動になっている。

また、これまで14年間の活動で、年間平均整備面積3ha、合計整備面積40haを超える森林整備活動を実施した。

## 9 その他

|  |
|--|
|  |
|--|

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                    | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                               | 事業費<br>(円)                     | 希望する<br>補助金額<br>(円)            |
|-----|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)    | 講師謝礼金 (7,000 円×3 回×9 名)✓                                                                    | ✓ 189,000                      | 189,000                        |
| 2   | 賃 金                |                                                                                             |                                |                                |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)       |                                                                                             |                                |                                |
| 4   | 消 耗 品 代            | 作業用防振手袋 (5,940 円×7 双) ✓                                                                     | ✓ 41,580                       | ✓ 41,500                       |
| 5   | 燃 料 代              | 混合油 (ガソリンのみ 170 円/ℓ×80 ℓ)✓<br>混合油用 2 サイクルオイル (5,742 円/ℓ×1 本)✓<br>チェーンオイル (3,135 円/4 ℓ×2 本)✓ | ✓ 13,600<br>✓ 5,742<br>✓ 6,270 | ✓ 13,600<br>✓ 5,500<br>✓ 6,000 |
| 6   | 印刷製本代              |                                                                                             |                                |                                |
| 7   | 資 材 費              |                                                                                             |                                |                                |
| 8   | 役 務 費              | 共済保険掛金 (7,200 円×7 名)✓                                                                       | ✓ 50,400                       | ✓ 50,400                       |
| 9   | 使用料及<br>び<br>賃 借 料 |                                                                                             |                                |                                |
| 10  | 委 託 費              |                                                                                             |                                |                                |
| 11  | そ の 他              |                                                                                             |                                |                                |
| 合 計 |                    |                                                                                             | ✓ 306,592                      | ✓ 306,000                      |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 秋田県立秋田北鷹高等学校 緑地環境科                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 所 在 地                  | 〒018-3314<br>住所 秋田県北秋田市伊勢町1-1<br><br>電話 0186-60-0151 FAX 0186-62-0555<br>Eメール sato-hisakazu@akita-pref.ed.jp                                                                                                                                                            |
| 代 表 者 名                | 校長 佐々木 孝之（ささき たかゆき）                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 連 絡 先                  | 〒018-3314<br>住所 秋田県北秋田市伊勢町1-1<br><br>電話 0186-60-0151 FAX 0186-62-0555<br>Eメール sato-hisakazu@akita-pref.ed.jp                                                                                                                                                            |
| 連 絡 者 名                | 担当職員 緑地環境科 教諭 佐藤 久和（さとう ひさかず）                                                                                                                                                                                                                                           |
| 設 立 年 月 日              | 平成20年 4月 1日                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 会 員 数                  | 7 名                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 会員の平均年齢                | 18歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                                                                                                                                                   |
| 設 立 目 的                | 個人所有山林の森林整備ボランティア事業。何らかの理由で山林整備ができなくなった所有者の承諾を得て、将来、林業事業体就業を志す高校3年生の有志が、間伐をはじめとする森林保育作業全般を実施する。                                                                                                                                                                         |
| 主 な 活 動 実 績            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで14年間の活動で、40ha以上の山林整備を実施。</li> <li>・平成23年度ボランティアスピリッドアワード全国大会出場</li> <li>・令和2年度秋田県環境大賞受賞（県知事表彰）</li> <li>・令和2年度毎日地球未来賞受賞（毎日新聞大阪本社事業部主催学生部門大賞）</li> <li>・令和3年度地域環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）</li> <li>・令和5年度がんばる林業高校生表彰最終選考選抜</li> </ul> |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の予算規模 0 円</li> <li>・主な財源 県民提案事業費補助金以外特になし</li> </ul>                                                                                                                                                                          |
| 備 考                    |                                                                                                                                                                                                                                                                         |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|                |         |
|----------------|---------|
| 公立大学法人秋田公立美術大学 | 所在する市町村 |
|                | 秋田市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                        |
|------------------------|
| あそび×まなびのひろば“自然と芸術体験”事業 |
|------------------------|

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

|                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大森山公園のグリーン広場周辺の森林を介して、主に小学校の子ども達と親を対象に、自然体験と芸術体験が出来るワークショップや、遊具、造形物から、遊べて学べるイベントを開催することで、身近な森林環境の理解を目指します。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期         | 実施内容                                                                                                    | 実施場所             | 参加者数 |     |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------|-----|
|              |                                                                                                         |                  | 会員   | 非会員 |
| 4月27日        | 大森山観察会とリサーチ/1回目<br>（大森山公園を訪れ、秋田公立美術大学生の参加者とサポートスタッフにより、森の観察を行い、ワークショップ、体験型遊具ならびに自然素材を使った造形のためのリサーチを実施。） | 大森山公園とグリーン広場周辺の森 | 20   |     |
| 5月18日        | 大森山リサーチ/2回目<br>（大森山公園を訪れ、秋田公立美術大学生の参加者とサポートスタッフにより、最終的なワークショップ内容、体験型遊具ならびに自然素材を使った造形の設置場所のリサーチを実施。）     | 大森山公園とグリーン広場周辺の森 | 20   |     |
| 7月20日、21日    | 大森山設営<br>（ワークショップ準備、遊具や造形物の設営。）                                                                         | 大森山公園とグリーン広場周辺の森 | 20   |     |
| 7月27日        | あそび×まなびのひろば in 大森山オープニングイベント開催<br>（自然と芸術体験のワークショップや自然素材の遊具で自由に遊ぶ体験会、自然素材の造形鑑賞会など実施。）                    | 大森山公園とグリーン広場周辺の森 | 20   | 40  |
| 7月27日から8月31日 | あそび×まなびのひろば in 大森山開催<br>（設置した遊具と造形鑑賞などが自由に可能となる自主参加の森林体験を実施。）                                           | 大森山公園とグリーン広場周辺の森 | 20   | 100 |
| 参加人数合計(延べ)   |                                                                                                         |                  | 100  | 140 |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

秋田の子ども達らの自然体験と芸術体験、秋田公立美術大学生の自然と環境の教育が重なり合うことで現在の森林環境を学び考える、他にはない活動を実施します。子ども、学生、親など、年代を横断した環境教育と理解を継続的に促進し、秋田の環境保全につなげ広げていきたい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。例) 植樹活動面積が広いので3年を超えて継続して活動する必要がある。

「あそび×まなびのひろば」は、大森山動物園から委託を受けて実施する大森山アートプロジェクトの企画の1つとして、2019年から2022年までアーツ&ルーツ専攻の村山修二郎准教授監修により開催してきたが、2023年度以降は開催しないことが決まり、子ども達の学び、若い学生の学びの機会を考えた際、継続して来たものが途切れてしまうことを危惧している。引き続き、学生の地域参加や学びの機会、子どもや親子参加での森林環境における学びと遊びの機会を提供したく、2023年度より「森づくり県民提案事業」に応募し、採択をいただき実施している。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・ 応募回数： 1回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・ 採択回数： 1回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

## 6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

○他の団体等と連携した活動である。

(連携する団体名：NPO 法人アーツセンターあきた)

○参加者を一般公募している。

## 7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

- ・ リーフレット1,600枚、会場マップ200枚、ポスター200枚を作成し、秋田市内の小中学校や文化施設、公共施設など185箇所にて配架掲出
- ・ プレスリリースを発信し、マスメディア等からの取材を促進
- ・ 秋田市広報紙にイベント告知掲載依頼を行う
- ・ 秋田公立美術大学のホームページやSNSを利用した広報

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

## 8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

- ・ 森林の環境教育だけでなく、芸術も加えた新たな芸術環境教育は独自のものです。
- ・ 自然体験と芸術体験が合わさることで、様々な五感や脳の活性を促進が期待出来ます。
- ・ 子どもと親と、若い秋田公立美術大学生との豊かなコミュニケーションの機会が生まれます。
- ・ 秋田公立美術大学生に秋田の森林を理解してもらうことで、地域の魅力を広く発信してもらう

ことが出来ます。

- ・市街地に近い大森山の森林を気楽に体感する機会から、身近な環境理解を促進します。

## 9 その他

大森山動物園様から、令和5年度と同様に会場として使用することについて了承を得ています。

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                 | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの算<br>出根拠を記入)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            |                     |
| 2   | 賃 金             | 草刈・枝払い・清掃作業（会場動線・安全確保）対象<br>範囲 28 キロ平米、動線距離 1.5km @2,200 円×18h                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 39,600     | 39,600              |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            |                     |
| 4   | 消 耗 品 代         | 虫除けスプレー 998 円×8 個 <u>7,984 円</u><br>角材 45×45×1985mm 480 円×12 <u>5,760 円</u><br>白竹 2500mm 158 円×20 <u>3,160 円</u><br>麻紐 バインダーひも 1,280 円×1 <u>1,280 円</u><br>麻紐 72×2 1,980 円×2 <u>3,960 円</u><br>綿ロープ 12mm×20m <u>4,657 円</u><br>ビス 3.8×45mm 1100 本 <u>978 円</u><br>杉合板 3 尺×6 尺×12mm 2,180 円×4= <u>8,720 円</u><br>杉合板 3 尺×6 尺×24mm 5,800 円×3= <u>17,400 円</u><br>帆布 11 号生成り (143 円/10cm)×12m <u>17,160 円</u><br>シーチング綿布 110cm 幅 (77 円/10cm)×8m <u>6,160 円</u><br>印刷用紙 B2 ロール <u>8,778 円</u><br>印刷用紙 A0 30m <u>8,250 円</u><br>コピー用紙 A4 500 枚 378 円×2 <u>756 円</u><br>ペンキ 0.2L 黒、白、赤、青、黄 798 円 5 缶 <u>3,990 円</u><br>上柿渋 250ml <u>2,280 円</u> | 101,273    | 100,780             |
| 5   | 燃 料 代           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            |                     |
| 6   | 印刷製本代           | ポスター印刷 A1 折り加工 200 枚 63,800 円<br>リーフレット印刷 A4 折り加工 1,600 枚 48,400 円<br>マップ印刷 A4 折り加工 200 枚 10,450 円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 122,650    | 122,650             |
| 7   | 資 材 費           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |            |                     |

|     |                       |                                                                                                |         |         |
|-----|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|
| 8   | 役 務 費                 | 広報物配布 通信運搬費 @210 円×87 箇所                                                                       | 18,270  | 18,270  |
| 9   | 使 用 料 及<br>び<br>賃 借 料 |                                                                                                |         |         |
| 10  | 委 託 費                 | ディレクション業務 @2,200×53.5 時間<br>1) 自然体験と芸術体験が出来るアート空間の<br>創出<br>2) イベントの進行管理<br>3) 担当教員、参加学生との連絡調整 | 117,700 | 117,700 |
| 11  | 講 習<br>受 講 料          |                                                                                                |         |         |
| 12  | そ の 他                 |                                                                                                |         |         |
| 合 計 |                       |                                                                                                | 399,493 | 399,000 |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                      |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 公立大学法人秋田公立美術大学                                                                       |
| 所 在 地                  | 〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3<br>電話018-888-8478 FAX018-888-8101<br>Eメール kikaku@akibi.ac.jp  |
| 代 表 者 名                | 理事長 北郷 悟                                                                             |
| 連 絡 先                  | 〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3<br>電話018-888-8478 FAX 018-888-8101<br>Eメール kikaku@akibi.ac.jp |
| 連 絡 者 名                | 事務局企画課 山崎 しほ                                                                         |
| 設 立 年 月 日              | 平成25年4月1日                                                                            |
| 会 員 数                  | 一 名                                                                                  |
| 会員の平均年齢                | 一 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                |
| 設 立 目 的                | 秋田公立美術大学は、豊かな創造性とグローバルな視野を持った人材を育成するとともに、芸術文化の発展と地域社会に貢献するため、大学を設置し、および管理することを目的とする。 |
| 主 な 活 動 実 績            | 平成25年4月 大学設立<br>平成28年8月 大学院複合芸術研究科修士課程設立<br>平成29年4月 大学院複合芸術研究科開設                     |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | ・団体の予算規模 1,498,311千円（令和5年度）<br>・主な財源 運営費交付金（秋田市）                                     |
| 備 考                    | 添付資料：公立大学法人秋田公立美術大学定款                                                                |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|             |         |
|-------------|---------|
| 秋田県立仁賀保高等学校 | 所在する市町村 |
|             | にかほ市    |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

「木を育て心を育てる植林活動」～鳥海山・本郷地域への「ブナ」の植林～

## 3 事業の目的

（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

この事業において本校生徒が「鳥海山にブナを植える会」の方々と一緒にブナの植林や施肥を行うことにより、地域の一員であるという自覚を促すと共に、地域の自然や森林に関心をもたせ環境保護の心を育てることを目指す。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                                              | 実施場所                | 参加者数 |     |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------|-----|
|            |                                                                                   |                     | 会員   | 非会員 |
| 5月下旬       | 植林追肥<br>昨年度植えた苗に追肥を行い、成長を観察する。                                                    | 鳥海山一合目<br>(本郷旧栗林付近) | 12   |     |
| 10月中旬      | 講演会「鳥海山とブナの森といのちのつながり」<br>講師は「鳥海山にブナを植える会」に依頼<br>鳥海山にブナを植える意義や、植林の方法について講演をしてもらう。 | 仁賀保高校               | 105  |     |
| 10月中旬      | 鳥海山本郷地域での植林活動（小雨決行）<br>「鳥海山にブナを植える会」の方々の指導で、植林を行う。帰校後、感想文を記入する。                   | 鳥海山一合目<br>(本郷旧栗林付近) | 105  |     |
| 参加人数合計(延べ) |                                                                                   |                     | 222  |     |

※・活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

・事業内容を補足する資料があれば添付してください。

・参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

ブナの植林活動をきっかけとして、将来的には、ブナの成育を自分の子どもや地域の子ども達に見せたりしながら、地域に生きる一員として、自然の大切さや郷土の素晴らしさを次世代に伝える人材を育てたい。また協力して頂いている「鳥海山にブナを植える会」の活動を知ることにより、今後この活動に賛同し、積極的に参加する人材も併せて育てていきたい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。例) 植樹活動面積が広いため3年を超えて継続して活動する必要がある。

本校は、地域との連携を重視した教育を実施している。その一環で毎年1年生にブナ植林事業の意義と、郷土を大切にする意識をもたせるという目的の学習を行っているため。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・応募回数：14回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・採択回数：13回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

6 参加者の構成等(当てはまるもの全てに○を付けてください)

☒ 他団体等と連携した活動である。

(連携する団体名： 鳥海山にブナを植える会(須田和夫会長))

- ・参加者を一般公募している。

7 活動の広報・PR活動について

(活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

学校のWebサイトに活動内容を載せて、広く周知を図っている。

また、「鳥海山にブナを植える会」会報に生徒の感想文を掲載していただいている。

さらに、市広報・新聞社に事業について連絡し、活動の様子を報道してもらっている。

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

8 提案事業のアピールポイント(事業の独自性など箇条書きで記入してください)

- ・事前に講演を聞き、鳥海山にブナを植える意義を理解した上で植樹を実施している。
- ・本校では毎年6月に全校鳥海登山を実施しているが、その際、鳥海山のクリーンアップも同時に行っている。それらの環境教育の一環として、ブナ植樹を位置づけている。

9 その他

本校は、令和5年度に、長年のブナ植林活動が評価され「秋田県水と緑貢献賞」を受賞しました。平成30年度には、にかほ市と連携協定を結ぶなど地域との連携に力を入れており、芭蕉レース象潟トライアスロンの全校ボランティアなど地域と密着した活動を積極的に展開している。

## 事業経費内訳書

| 項 目 |                    | 経費の内訳<br>(具体的に使いみちを明記し、その単価や数量などの<br>算出根拠を記入)                                           | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報 償 費<br>(謝礼金等)    | 事前学習講演会講師・植林指導謝金<br>@10,000 円×1 回×2 名=20,000 円                                          | 20,000 円   | 20,000 円            |
| 2   | 賃 金                |                                                                                         |            |                     |
| 3   | 旅 費<br>(交通費)       |                                                                                         |            |                     |
| 4   | 消 耗 品 代            | ペンキ・ニス @1,160×1 個=1,160 円<br>ペイント薄め液 @570×1 個=570 円                                     | 1,730 円    | 1,700 円             |
| 5   | 燃 料 代              |                                                                                         |            |                     |
| 6   | 印刷製本代              |                                                                                         |            |                     |
| 7   | 資 材 費              | ブナ苗木 @1,133×115 本=130,295 円<br>手シバ(目印棒) @55×115 本=6,325 円<br>標柱 @2,080×1 本=2,080 円      | 138,700 円  | 138,700 円           |
| 8   | 役 務 費              | 謝金振込手数料 @330 円×1 件=330 円<br>ブナ苗木代金振込手数料 @550 円×1 件=550 円<br>地拵え代金振込手数料 @550 円×1 件=550 円 | 1,430 円    | 1,400 円             |
| 9   | 使用料及<br>び<br>賃 借 料 | 小型バス 41,800 円×1 台×1 回=41,800 円(追肥)<br>大型 86,900 円×2 台×1 回=173,800 円(ブナ植樹)               | 215,600 円  | 193,000 円           |
| 10  | 委 託 費              | 植樹現場地拵え 115 本分=310.5 m <sup>2</sup> 45,200 円                                            | 45,200 円   | 45,200 円            |
| 11  | 講 習<br>受 講 料       |                                                                                         |            |                     |
| 12  | そ の 他              |                                                                                         |            |                     |
| 合 計 |                    |                                                                                         | 422,660 円  | 400,000 円           |

注) ・合計金額は千円単位とすること。

・経費単価について根拠資料（見積書等）を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                        |                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名                  | 秋田県立仁賀保高等学校                                                                                                                                                                                                 |
| 所 在 地                  | 〒018-0148<br>住所 秋田県にかほ市象潟町字下浜山3-3<br><br>電話 0184-43-4791 FAX 0184-43-4792<br>Eメール <a href="mailto:Nikahokoutougakkou@pref.akita.lg.jp">Nikahokoutougakkou@pref.akita.lg.jp</a>                              |
| 代 表 者 名                | 校長 佐々木 誠                                                                                                                                                                                                    |
| 連 絡 先                  | 〒018-0148<br>住所 秋田県にかほ市象潟町字下浜山3-3<br><br>電話 0184-43-4791 FAX 0184-43-4792<br>Eメール <a href="mailto:sugawara-kiyoshi@akita-pref.ed.jp">sugawara-kiyoshi@akita-pref.ed.jp</a>                                  |
| 連 絡 者 名                | 特別活動部主任 教諭 菅 原 清                                                                                                                                                                                            |
| 設 立 年 月 日              | 1977年4月1日                                                                                                                                                                                                   |
| 会 員 数                  | 生徒数 151名 職員数 30名                                                                                                                                                                                            |
| 会員の平均年齢                | 16 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                                                                                                                      |
| 設 立 目 的                |                                                                                                                                                                                                             |
| 主 な 活 動 実 績            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成8年：学校植林活動に関して、県知事から感謝状を贈呈される。</li> <li>・平成15年：秋田県「みどりの文庫」贈呈される。</li> <li>・平成18年：ブナ植林活動が第13回コカコーラ環境教育主催者賞を受賞。</li> <li>・令和5年：長年に渡るブナ植林活動が、秋田県水と緑貢献賞を受賞。</li> </ul> |
| 予 算 規 模 及 び<br>主 な 財 源 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の予算規模 円</li> <li>・主な財源</li> </ul>                                                                                                                                 |
| 備 考                    |                                                                                                                                                                                                             |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。

## 実施計画書

## 1 提案者（団体名）

|              |         |
|--------------|---------|
| 秋田県立大曲農業高等学校 | 所在する市町村 |
|              | 大仙市     |

## 2 事業名（活動のタイトルを記入してください）

|                                 |
|---------------------------------|
| 林業の「川上から川下まで」を实践し、林業の楽しさを学び伝えよう |
|---------------------------------|

## 3 事業の目的（どんな目的で活動するのかできるだけ簡潔に記入してください）

林業は育林・保育作業をはじめキノコ生産、製炭、木材加工と様々な可能性がある。本事業において、高校生が主体となり森林施業、製炭、木材加工品の製作を通して、林業をより深く学ぶ。

また、生産物や加工品を通して地域社会との交流を深め、林業の取り組みや木材のことをより多くの方に知ってもらふ活動を行う。これらの活動を通して、林業の底辺拡大と担い手育成に向けた取り組みを行っていく。

※団体の紹介については、規約等を添付していただくのでこの欄には記入しないでください。

※クマ対策事業の場合は、それが分かるように記入してください。

## 4 事業の内容

| 実施時期       | 実施内容                                                              | 実施場所                       | 参加者数 |     |
|------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------|------|-----|
|            |                                                                   |                            | 会員   | 非会員 |
| 6月<br>～12月 | 大曲技術専門校連携ベンチ製作（～10月）<br>秋田スギを使用したベンチを製作<br>完成したベンチは地域施設に寄贈        | 大曲技術専門校<br>大曲農業高校          | 12   | 8   |
| 9月<br>～1月  | 製炭実習（白炭）<br>演習林での林業機械を使用した間伐実習<br>農業科学館連携製炭実習<br>木炭の配布、様々な活用方法の検討 | 大曲農業高校<br>大農演習林<br>県立農業科学館 | 23   | 2   |
| 参加人数合計(延べ) |                                                                   |                            | 35   | 10  |

※活動の実施時期、実施内容、実施場所等を具体的に記入してください。

※事業内容を補足する資料があれば添付してください。

※参加者数は会員と非会員（一般参加者等の会員以外の参加者）を分けて記入してください。

## 5 発展性・継続性

(1) 実施したい活動を、将来的にはどのように広げていきたいと考えていますか？

本活動を通し、林業に対する課題意識と熱意の醸成を目指し、林業の担い手育成に重点を置き、後継者不足を解消する一翼を担いたい。

また、地域との関わりを深くし、より多くの人を巻き込みながら林業に対する理解を深めてもらう活動にしていきたい。

(2) 同じ事業内容で3年を超えてこの事業を利用されている団体の場合、その理由と今後の活動のあり方について記入してください。

例) 植樹活動面積が広いいため3年を超えて継続して活動する必要がある。

過去7年間の活動を通して、校内での林業を専攻する生徒が増加し、林業従事者、林業大学校への進学者を毎年確保することができている。本事業においては、特に外部機関との連携の強いベンチ製作と製炭実習に事業を絞り、内容の拡充を図り、これまでの連携機関のみならず他の機関(小・中学校)との連携を模索し、より充実したものにしていきたい。

(3) 本事業の応募回数及び採択回数について(回数を記入してください)

- ・ 応募回数： 7 回 (応募回数には今回の応募分は含めない)
- ・ 採択回数： 7 回 (採択回数には今回の応募分は含めない)

## 6 参加者の構成等 (当てはまるもの全てに○を付けてください)

- ☒ 他団体等と連携した活動である。

(連携する団体名：大曲技術専門学校、秋田県立農業科学館)

- ・ 参加者を一般公募している。

## 7 活動の広報・PR活動について (活動を行う際のPRや参加者募集、活動終了後の取組内容の周知など、具体的な広報活動の計画を記入してください。 例：チラシ○○枚作成し○○に配布、○○広報紙に掲載など)

本校ホームページでの広報  
地域との連携活動の際の、報道機関への取材依頼。  
ベンチ寄贈のチラシを作成し、ホームページで広報

※継続して提案する団体で前年度にチラシ等を作成した場合は、その写しを添付してください。

## 8 提案事業のアピールポイント (事業の独自性など箇条書きで記入してください)

- ・ 事業を継続していく中で、校内での林業部門の専攻者が増加。
- ・ 林業関係の就職・進学者を常に排出していることから、林業後継者の育成に寄与することができている。
- ・ 様々な機関との連携を実施しており、広報機能を有している。

## 9 その他

特になし

事業経費内訳書

| 項目  |               | 経費の内訳<br>(具体的な使いみちを明記し、<br>その単価や数量などの算出根拠を記入)                            | 事業費<br>(円) | 希望する<br>補助金額<br>(円) |
|-----|---------------|--------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------|
| 1   | 報償費<br>(謝礼金等) |                                                                          |            |                     |
| 2   | 賃金            |                                                                          |            |                     |
| 3   | 旅費<br>(交通費)   |                                                                          |            |                     |
| 4   | 消耗品代          | 塗料 ガードラックアクリル A-3 チューブ 3.5kg @10,230×1缶<br>ビス ステンコースレット 小箱半 65 @5,115×1箱 | 16,000     | 16,000              |
| 5   | 燃料代           | 混合油 (間伐実習チェーンソー燃料)<br>4L缶@1,380×2個                                       | 3,000      | 3,000               |
| 6   | 印刷製本代         |                                                                          |            |                     |
| 7   | 資材費           | ベンチ製作用木材 3,650×105×36mm<br>@3,553×15本                                    | 54,000     | 54,000              |
| 8   | 食料費           |                                                                          |            |                     |
| 9   | 役務費           |                                                                          |            |                     |
| 10  | 使用料及び<br>賃借料  |                                                                          |            |                     |
| 11  | 委託費           |                                                                          |            |                     |
| 12  | 講習<br>受講料     |                                                                          |            |                     |
| 13  | その他           | 集塵機 1台                                                                   | 23,000     | 23,000              |
| 合 計 |               |                                                                          | 96,000     | 96,000              |

※経費単価について根拠資料(見積書等)を必ず添付すること。

## 応募団体概要書

|                |                                                                                                                 |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団体名            | 秋田県立大曲農業高等学校                                                                                                    |
| 所在地            | 〒014-0054<br>住所 大仙市大曲金谷町 2 6 番 9 号<br>電話 0187-63-2257 FAX 0187-62-3434<br>E メール daino-h@akita-pref.ed.jp        |
| 代表者名           | 校 長 渡 辺 勉                                                                                                       |
| 連絡先            | 〒014-0054<br>住所 大仙市大曲金谷町 2 6 番 9 号<br>電話 0187-63-2257 FAX 0187-62-3434<br>E メール takagawa-kengo@akita-pref.ed.jp |
| 連絡者名           | 教 諭 高 川 健 悟                                                                                                     |
| 設立年月日          | 明治 2 6 年 4 月 1 日                                                                                                |
| 会員数            | 5 4 0 名（生徒 4 9 0 名）                                                                                             |
| 会員の<br>平均年齢    | 歳<br>(若者を対象とした特別枠に応募する場合のみ必ず記載すること)                                                                             |
| 設立目的           |                                                                                                                 |
| 主な活動実績         |                                                                                                                 |
| 予算規模及び<br>主な財源 | ・団体の予算規模 円<br>・主な財源                                                                                             |
| 備考             |                                                                                                                 |

※団体の概要などについて資料を添付する際は、添付した全ての書類名を備考欄に記入してください。

※規約・会則等を有する団体は、その写しを添付してください。